

# 資料編

## 「熟議 2015 in 兵庫大学」開催結果

1.日 時 . . . 平成 27 年 11 月 22 日（日）10：00～16：00

2.場 所 . . . 兵庫大学（加古川市平岡町新在家 2301）

3.主 催 . . . 兵庫大学・兵庫大学短期大学部

4.共 催 . . . 加古川市

### 5.参加者数

・一般参加者	77 人（内 学生 11 人、高校生 36 人）
・傍聴参加	20 人
・学生ファシリテータ	12 人
・司会者	1 人（参加者学生と重複）
・記録係（職員）	12 人
・登壇者	3 人
・メインファシリテーター	1 人
合計	125 人

### 6. 熟議プロジェクトメンバー

田端 和彦 吉原 恵子 北島 律之 木下 幸文  
森下 博 久井 志保 小林 洋司 岩崎 治夫 柏村 裕美

### 7. 後援

兵庫県、兵庫県教育委員会、高砂市、稲美町、播磨町、  
加古川市教育委員会、高砂市教育委員会、稲美町教育委員会、  
播磨町教育委員会、（公財）兵庫県生きがい創造協会、  
神戸新聞社、BAN・BAN ネットワークス株式会社

## 8. 実施風景写真



以上

## 当日速報

# 熟議2015 in 兵庫大学

## 加古川地域のちから ～安心・安全を創る～

自分たちが暮らしたい安心・安全な社会について意見を出します  
その社会を実現するための課題に対する解決案を考えます



### 安心して暮らせる地域とは

～熱慮「Part3」の回答より～

Q: いま住んでいる地域に暮らすなかで、「安全でない」「安全が感じられない」と思った事からや経験がありますか。

A: 街灯が少ない。道が狭くガタガタ。交通マナーも悪い。空き巣や不審者の問題。

Q: 「安全でない」「安全が感じられない」事からや経験を改善したり、解決したりするには…

A: 交通量が多いのは、道路を拡張するか、別の道を確認する。安全教育の強化。地域で相互に見守る仕組みを作る。

Q: あなたにとって、「安心して暮らせる地域」とは…

A: 地域の人々が挨拶し合ったり、コミュニケーションや交流があり、助け合える地域。子どもたちが安心して遊べる地域。

### 熟議への期待

加古川市長 岡田康裕

兵庫大学「熟議」今年で4回目の開催となります。

熟議の中で、学生の皆様の柔軟な発想や地域の皆様の豊富な経験や知恵・知識から導き出される議論は、行政に多くのヒントを与えてくださる機会と考えております。本日、参加されている皆様にとって、まちづくりについて考える機会となり、「加古川地域のちから」がさらに盛り上がっていくことを期待しています。



### 「安全」と「安心」

#### 安全

客観的事実  
\*科学的評価によって  
もたらされる  
\*科学で証明される

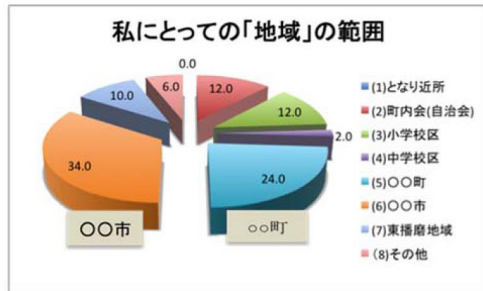
#### 安心

主観的感情  
\*人それぞれによって  
もたらされる  
\*自ら理解し・納得す  
ることで得られる

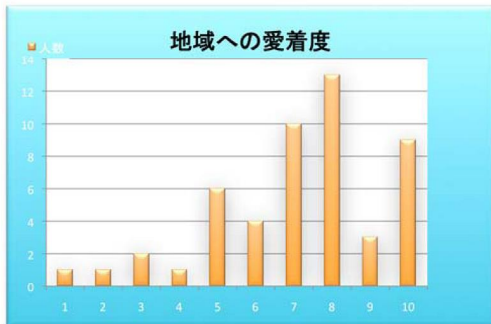
「安全が守られてはじめて安心が生まれる、安心できる」ということですね。



～熟慮「Part3」の回答より～



「地域」の範囲は、「OO市」と考える人が最も多く 34.0%、第2位は「OO町」24.0%



「地域への愛着度」は、半数が「8」以上となっており、愛着度が高い参加者が多い

**Q:** 安心して暮らせる地域にするために「地域として」どんなことをしたらよいと考えますか？  
**A:** 気楽に話し合える場所や機会が十分に確保されること。いざという時に助け合える土壌を作ること。

**Q:** 安心して暮らせる地域にするために「あなたなら」何をしますか？何ができますか？  
**A:** 地域行事、地域活動へ積極的に参加する。ボランティアなどをして手伝いをする。

メイン・ファシリテーター山崎清治さん  
 (NPO 法人生涯学習サポート兵庫理事長)



昨年度は最終討論会のまとめ役をしていただきました。今回の熟慮では、アイスブレイクで雰囲気づくりをするとともに、各グループの議論を受けて、全体の進行をしていただきました。議論の結果を整理し、説明をしていただくことで、参加者全員が納得できるかたちで熟慮の成果がまとまりました。ありがとうございました。

テーマ1  
 子どもが安全安心に生活するには？

あいさつするよう指導。  
 不審者メールがきたら集団下校させる。  
 公園に若者がたまらないように。  
 ご近所づき合い。

テーマ1  
 不審者から身を守るには？

テーマ2  
 防災力を上げるには？

家の灯をつけておく。護身術を身につける。逃げる場所を見つけておく。学校での教育→自己防衛。当事者意識をもつ。

テーマ2  
 なぜ事故(交通)が多いか？



テーマ1  
 住みやすい街にするには？

・人が出会い、近づくための機会づくりが大切  
 ・交通に対する設備の充実と個々人の注意を促す働きかけを工夫していくことが重要！

テーマ1  
 あなたの食べるものは安全ですか？

テーマ2  
 災害時の被害を少なくするには？

・家族単位、地域単位の防災意識を向上させる場づくり。  
 ・災害弱者をはじめとした住民の把握と情報の共有が大切。

テーマ2  
 生活環境は大丈夫ですか？



テーマ1  
 自己愛を向上させるには？

自分の長所、短所を知るとともに当事者意識を持つと共に、周囲の他者にも目を向け、あいさつをしたり視野を広げ、お互い様の気持ちでつながり合い助け合う。

テーマ1  
 災害時に備えて一人一人が優先的に何をすべきか？

テーマ2  
 自分の地域を知っていますか？

地域を知るにはゴミ出しやみんなでの清掃をしたり、地域や学校の行事、祭りに参加したり、あいさつをしたりして、お互いの顔がわかることが大切。地域について「発見」していく必要がある。

テーマ2  
 道路環境をよくするには？

(1)あいさつなど身近な活動 (2)道徳や防犯など教育 (3)街灯や情報共有など対策という三本柱を。

交通マナーを守る為の教育と事故情報の共有などの意識化と安全な道路や公共交通で車を減らすなど環境整備。

テーマ1  
地域で安心して暮らせますか  
→ 地域行事への参加。ボランティア精神をもつ。一人一人の関心。学校で話し合いの機会をもっと増やす。行政と地域の連携。

テーマ2  
犯罪被害を減らすためには？  
→ 地域の活動のひとつとしてパトロールの実施。自分を守るのは自分。人を大切にする。貧困者をつくらない。防犯対策をしっかり説明する。

テーマ1  
交通事故を起こさないためには？

→ 自分たち一人ひとりの交通に対する意識の改革が大切！  
→ LEDや独自の標識をつくるといった交通に関わる設備の充実

テーマ2  
災害にどう備えるか？

→ ITを利用した情報共有や非常用物質備蓄のPR活動の充実  
→ 地域がまとまるためのしかけをつくる(住民による清掃活動など)



身を守る態度を基盤に国産重視で、個人も正しい知識を持つ。もちろん生産者の安全管理の体制にも関心を。

意識を向上させ、ため池を守るためにも地域コミュニケーション。災害情報を把握し身を守るためにも地域コミュニケーション。

テーマ1  
治安を良くするためには？  
→ 解決の手段として自分達で出来ること、地域で出来ること、行政で行うことが挙げられる。

テーマ2  
自分の町のインフラは大丈夫ですか。  
→ 治水対策や道路整備などハードに対する対策も必要だが、地域のつながりも必要ではないか？

テーマ1  
交通ルールマナーを浸透させるには？

→ 利用者のマナー向上、歩道などのインフラ整備、罰則を強化することが解決の手段となる。

テーマ2  
例えば地域力とは何か

→ 回覧板やハザードマップで情報を伝える一方で、地域について話し合うコミュニケーションが重要。



ハザードマップで地域の情報を得て対策を考える。避難場所を知って家族で共有し、待合場所を決定する。防災グッズ(非常用袋)を備えておく。

まず、道路や歩道を整備する。危ない箇所をチェックし行政に要請する。また、「危険」看板や街灯を設置する。一番大切なのは自分が交通ルール、マナーを守り、危険な場所は避けること。

テーマ1  
地域のコミュニケーションを深めるには？  
→ 基本となるのは「あいさつ」。加えて自治会や子ども会などの地域組織のつながり。情報告知の仕方の工夫やボランティアの活躍も必要。

テーマ2  
安全な道を作るには  
→ 交通ルールを守ったり、普段から危険を予測するなど「意識を高める」ことが大切。他に歩行者を別にする、道を明るくするなど必要。

テーマ1  
ご近所付き合いしてますか

→ 近所付き合いのツールとして、挨拶、祭、子ども会などが大切。いざという時、命を守ることにつながる。ただ大人と若者の認識の違いに注意。

テーマ2  
加古川って安全なの？

→ 道を照らす、カメラの設置、情報の提供などハード的なもの、安心しきれない、家族で話す、周りに注意するなどソフト的なものが大切。



## 地域が育てる熟議

「加古川地域のちから」が素敵な「創る」を生みだす！

「熟議」のテーマは、2012年度は「地域における生涯学習社会の構築と大学・自治体の役割」でしたが、2013年度からは「加古川地域の未来について話をしよう！」を3年間のテーマとしました。昨年のサブテーマ「安心・安全を考える」を経て、今年のサブテーマは「安心・安全を創る」とし、このテーマでの最終年度になります。加古川市には、昨年度から共催としてご支援いただき、ありがとうございます。また、これまで、行政機関等、一般市民、地元の高校から多数のご参加を得ました。熟議が回を重ね、地域に根づくことができましたのも、ひとえに熟議に関心を持ち、参加し、支えてくださった地域の皆さまのおかげと感謝申し上げます。



学長 三浦 陸則



高校生対象事前研修の様子



熟議の成果は毎年報告書にまとめられています

今年は、熟議参加者85名のうち、高校生が42名、大学生が23名（ファシリテータ12名を含む）となり、若い力があふれる熟議となりました。今回も「加古川地域のちから」が発揮され、素敵な「創る」がたくさん生まれました。この成果が今後の地域の発展につながることを心から期待しています。

### 「熟議」を教育に活かす

主体的・協働的な学習、アクティブラーニングの取組みが求められているなかで、この「熟議」はまさに的を得たものである。高校生にとって、世代を超えた様々な方の意見を聞き、自分の考えと照らし合わせる経験は大変有意義です。加古川南高校では、学校から地域・社会に出てサマワークやインターシップ等の事業に取り組んでいるが、この「熟議」型の活動を今後さらに積極的に取り入れていきたいと思う。

加古川南高等学校校長 小南克己

## 熟議でつながる地域の輪



### （今年度の参加者）

- 地域の方々、加古川青年会議所、いなみ野学園生、他
- 加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
- 高校生：加古川北高校、加古川西高校、加古川東高校、加古川南高校、松陽高校、高砂高校、高砂南高校、東播工業高校、播磨南高校、東播磨高校
- 大学生：兵庫大学・兵庫大学短期大学部
- 兵庫大学職員
- 兵庫大学・兵庫大学短期大学部 熟議プロジェクトチーム

兵庫大学・兵庫大学短期大学部

加古川市平岡町新在家 2301 <http://www.hyogodai.ac.jp>

※本紙は「速報」です。詳細はHPの報告書をご覧ください。

熟議専用HP <http://www.hyogo-dai.ac.jp/jukuji/>



※11月22日当日に配布したものと字体等に一部異なる点がございます。



自己認識シート(事前評価)

学校名		
科・コース	学年	年
氏名		

※下記に示された各能力に対し、今のあなたに当てはまると思われる「④レベルの欄」の1～5を○で囲んでください。

①能力	②能力の説明	④レベル				
		かなり自信がある	自信がある	ふつう	あまり自信がない	まったく自信がない
自主性	物事に進んで取り組む力 <input type="checkbox"/> 自分の目標や課題を定め、進んで取り組むことができる <input type="checkbox"/> 物事に対して、興味や関心をもって意欲的に取り組むことができる <input type="checkbox"/> 困難なことでも前向きに取り組むことができる	5	4	3	2	1
思考力	問題の要点を把握して、根拠をもとに論理的に考える力 <input type="checkbox"/> 現状を正しく理解するための情報収集や分析ができる <input type="checkbox"/> 物事の原因と結果を区分したり、問題の背景を考えることができる <input type="checkbox"/> 問題を解決するために見通しをもって、順序立てて考えることができる	5	4	3	2	1
実行力	目標に向かって行動する力 <input type="checkbox"/> 自分の考えをもち、それらを確実に実行することができる <input type="checkbox"/> 設定した目標達成に向けて粘り強く取り組むことができる <input type="checkbox"/> 困難な状況から逃げずに取り組むことができる	5	4	3	2	1
対応力	状況を判断して関係や流れがうまくいようよう行動する力 <input type="checkbox"/> 相手やその場の状況を配慮しながら、柔軟に対応することができる <input type="checkbox"/> 自分の役割と他者の役割を的確に判断し、取り組むことができる <input type="checkbox"/> 物事が良い方向に流れるよう、まわりに働きかけることができる	5	4	3	2	1
交渉力	人との関わりを踏まえ、働きかけて相互理解へ導く力 <input type="checkbox"/> 取り決めのための話し合いの場を持ち、合意をめざすことができる <input type="checkbox"/> 協力することの意義や理由を、相手に対して明確に伝えることができる <input type="checkbox"/> 周囲の人に対して効果的に働きかける手段を活用できる	5	4	3	2	1
会話力	相手と意思疎通(そつう)を図る力 <input type="checkbox"/> 自分の意見を具体的にわかりやすく伝えることができる <input type="checkbox"/> 相手の意見を丁寧に聞き、素直に受け止めることができる <input type="checkbox"/> 相づちや共感により、相手に話しやすい状況を作ることができる	5	4	3	2	1
計画力	現状を把握し、解決に向けて筋道を立てる力 <input type="checkbox"/> 実現のために段階ごとになすべきことを把握することができる <input type="checkbox"/> 作業の過程を明らかにし、優先順位をつけて計画を立てることができる <input type="checkbox"/> 必要に応じて他者の意見も積極的に計画に取り入れることができる	5	4	3	2	1
規律性	社会のルールや人との約束を守る力 <input type="checkbox"/> 社会のルールやマナーの必要性を理解し、それを守るができる <input type="checkbox"/> 他者に社会のルールやマナー、また約束を守るように促すことができる <input type="checkbox"/> 異なる立場を理解しながら社会のためのルールや約束を結ぶことができる	5	4	3	2	1
運営力	違う立場の人々の集まるチームを適切に運営する力 <input type="checkbox"/> 自分の意見を持ちつつも、他者の意見や立場も理解することができる <input type="checkbox"/> チームの目的を明確にして、メンバーに働きかけることができる <input type="checkbox"/> 異なる立場の人々とも力を合わせて物事を達成することができる	5	4	3	2	1
貢献性	社会の担い手として役割を自覚して、参画する力 <input type="checkbox"/> 地域や社会に参画することの意義や役割について理解している <input type="checkbox"/> 地域や社会に参画して、自分の役割を果たそうとする意欲がある <input type="checkbox"/> 地域や社会の担い手として、使命感をもった取り組みができる	5	4	3	2	1

# 熟議の進め方

20th  
60th

## 熟議 2015

in 兵庫大学

20th  
60th

- 熟議とは熟慮して議論することです。

20th  
60th

- 身近なことについて、市民自らが決める「熟議」が必要になりました。

国・地方自治体  
投票により政治を決定する仕組み。

熟議により身近なことについて決定する仕組み。

20th  
60th

- 世界のいろいろなところで熟議が行われています。

Citizen's Jury (オーストラリア州) PLANUNGZELLE (グループ4) 21世紀のタウンミーティング (USA)


20th  
60th

- 独自の「兵庫大学熟議方式」を開発しました。

20th  
60th


- 「兵庫大学熟議方式」は5段階で構成されます。

①熟慮 ②議論 ③共有 ④振り返り ⑤活動




- 「熟慮」：事前学習でテーマについて認識を持ちます。

● 9




- 「議論」：互いの認識を出し合い議論をします。

● 9




- 「共有」：議論の後、全員の議論や結論を共有します。

● 9




- 「振り返り」：自分のしたことへの仲間づくりと成長を振り返ります。

● 10



- 「活動」：熟慮の成果を踏まえ今後、活動しましょう。

● 11




- テーマは「加古川地域のちから～安心・安全を創る～」です。

● 12



•対象は加古川地域です。

013



•熟慮のため段階別に「事前学習」のページで学びます。

014



**熟議 2015**

**FIN**

兵庫大学でお待ちしております。

015

## 熟慮の段階（事前学習の進め方）




### 熟慮の段階

さあ「事前学習」をはじめましょう！




### 画面操作の仕方


- ・「進む」を押すと、1画面進みます
- ・「戻る」を押すと、1画面戻ります
- ・「<<」を押すと、一番最初の画面に戻ります
- ・「>>」を押すと、一番最後の画面に進みます
- ・次のスライドに進んだら▶️ ボタンを押して、音声を再生してください
- ・途中で止める場合には⏏️ を押してください



「熟慮Part1」から「熟慮Part3」まで、  
時間のあるときに少しずつ  
学習をすすめましょう！





考えていることを言葉にしたり、  
書いたりすることで、提案や  
アイデアがどんどん出てくるかも  
しれませんね




### 入力フォームの送信方法

1. 入力フォームに考えたことを入力してください
2. 「確認」ボタンを押してください
3. 確認画面が出たら、送信する内容がそれによいか確認してください
4. 内容がそれによければ、「送信」ボタンを押してください




### 事前学習の進め方

- 熟慮の本番に向けて、事前の学習をしておきましょう！
- ここでは、学習の進め方を説明します。




### 事前学習の構成

- ・事前学習は「熟慮Part1」「熟慮Part2」「熟慮Part3」に分かれています
- ・各スライドを順番に開いて、音声を聞きながら指示通りに学んでいきます



### シンキング・タイムと入力フォーム

- ・それぞれのPartで、「シンキング・タイム」があります
- ・この画面が出てきたら、しっかり考えましょう。そして、入力フォームに記入して下さい




### 事前学習の進め方の説明

このスライドで終わりです  
「熟慮Part1」に進んでください

「熟慮Part1を押すと  
のボタンが出てきます。

スライド画面と回答入力画面を並べて  
学習を進めて下さい。






## 熟慮「Part1」

ウォーミングアップ  
肩慣らしをしましょう！




### 学習の仕方

- スキップせずに
- 順番にクリックして
- ステップを踏んで
- 熟慮を進めていきましょう！

1 

### テーマの確認

- あらためて今回の  
熟慮のテーマ  
を確認しましょう！

2 




### 加古川地域のちから ～安心・安全を創る～

3 


### 加古川地域って？

今回の熟慮で  
加古川地域とは  
加古川市、高砂市、  
稲美町、播磨町  
のことです。

4 


### 加古川地域の「ちから」って？


- 元気を出すこと、元気が出ること
- お互いに助け合うこと
- 一人ひとりががんばること
- 財力があること
- 企画力や創造力があること
- 変化を生み出すこと

5 

加古川地域の「ちから」って？


あなたにとって、  
地域の「ちから」とは  
なんですか？

6 

  
シンキング・タイム  
(考え中...)


↓

⌘1分経過したら自分の考えを  
書いてみましょう

7 

〔回答1〕

- 地域の「ちから」とは...  
(1)だれが、  
(2)いつ、  
(3)どのように、  
(4)なにをする


8 

Part1のまとめ

今回のテーマと目的は、  
自分たちが暮らしたい  
地域を創っていくために...

↓

世代を超えて  
アイデアを出し合う

9 

**熟慮Part1**

このスライドで終わりです  
「熟慮Part2」に進んでください

⇒ ⇒ ⇒

10

熟慮の段階（熟慮 Part2）



## 熟慮「Part2」


熟慮で使う言葉や用語を  
頭に入れておきましょう！



## 熟慮をはじめるまえに

### 基本用語を 押さえて おきましょう！



1




たとえば...

## 「安全」とはどんな ことか、 自分の言葉で説明 してみましょ！

2




### シンキング・タイム (考え中...)



⌘1分経過したら**自分の考え**を  
書いてみましょう


3



### 〔回答2〕

・「安全」とは、  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○


4



### 安全の定義

- ・「危険がなく安心なこと」  
(大辞泉)
- ・「危険がなく安心なさま」  
(大辞林)
- ・「安らかで危険のないこと」  
(広辞苑)

5





## ポイント整理

- **安全**とは、.....  
 だいたい「**危険**がない」  
 「**損**をする可能性が低い」  
 「**損**をする可能性がない」  
 ...**危険**がない・**損**をすることが  
 ない**状態**のことですね。

## もうちょっと考えてみましょう！

- それでは、**危険**とは、  
 どんな**危険**でしょう
- それでは、**損**とは、  
 どんな**損**でしょう



シンキング・タイム  
(考え中...)



⌘1分経過したら**自分の考え**を  
書いてみましょう

## 〔回答3〕

- **危険**がない・**損**をすることがない状態とは、



○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○


## 危険とは、どんな危険でしょう

- 命の危険...事故、災害
- 経済上の危険...詐欺、リストラ
- 医療の危険...薬の危険、伝染病の危険、医療ミス
- 食品の危険...有害な添加物？食品偽装
- 暴力による危険...犯罪、武力攻撃、兵器
- 環境汚染による危険...放射性物質
- IT環境における危険...個人情報漏洩、詐欺、
- 
- 

## つぎに...


# 「安心」とはどんな ことか、 自分の言葉で説明 してみましょう！

  
**シンキング・タイム**  
 (考え中...)  
  
 ⌚1分経過したら**自分の考え**を  
 書いてみましょう

12 


〔回答4〕

• 「安心」とは、  
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

13 


**安心の定義**

- 「気にかかることなく**心が落ち着いている**こと。また、そのさま。」(大辞泉)
- 「**心が安らかに**落ち着いていること。不安や心配がないこと。また、そのさま。」(大辞林)
- 「心配・不安がなく、**心がやすらぐ**こと。また、安らかなこと。」(広辞苑)

14 

**ポイント整理**


安心とは、.....  
 「**心が落ち着いている**」  
 「**心が安らかなこと**」  
 「**不安がないこと**」  
 ...そんな**気持ち**のことですね

15 


**安全と安心**


ここまで「安全」と「安心」について考えてきました

- 「安全」と「安心」は、似ている言葉で、「安全安心」とひとつの言葉として使ったりしますね
- 「交通**安全**」とはいいませんが、「交通**安心**」とはいいません
- 「ひと**安心**」とはいいませんが、「ひと**安全**」とはいいません


16 

それでは  
**「安全」と「安心」**は  
 どちらがうのでしょうか


17 



**シンキング・タイム**  
(考え中...)




⌘1分経過したら**自分の考え**を  
書いてみましょう

18 

**〔回答5〕**


- 「安全」とは、  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
- 「安心」とは、  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
- こんなところが違う  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

19 

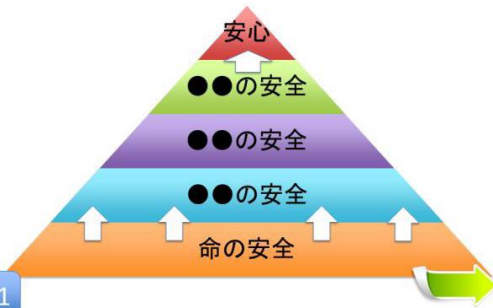
**安全と安心の違い**


<p><b>安全</b></p> <p>科学的評価に よってもたらされる 「科学で証明される 客観的事実」</p>	<p><b>安心</b></p> <p>人それぞれによって もたらされる 「自ら理解し・納得す ること得られる 主観的感情」</p>
---	--

参考URL: 「安全」と「安心」の違い 大野智<http://apital.asahi.com/>

20 


**安全と安心**



21 


**Part2のまとめ**

- 「**安全な状態**があって、**安全**が守られて」はじめて
- 「**安心**が生まれる、**安心**できる」ということですね。

22 

**熟慮Part2**

このスライドで終わりです  
「熟慮Part3」に進んでください



23

熟慮の段階（熟慮 Part3）



## 熟慮「Part3」


さて、事前学習の本番です。  
しっかりと考えましょう！



### 記憶をたどってみよう！


**Q1:**いま住んでいる地域に暮らすなかで、「安全でない」「安全が感じられない」と思った事からや経験がありますか。


▶▶▶いくつでも挙げてください。


1 

### 〔回答6〕

**Q1:**「安全でない」「安全が感じられない」と思った事からや経験について書いてください。

 (1) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○


 (2) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

2 

### 自分から提案してみよう！


**Q2:**「安全でない」「安全が感じられない」と思った事からや経験を改善したり、解決したりするにはどうしたらよいでしょう。


▶▶▶意見やアイデアを出してください。


3 

### 〔回答7〕

**Q2:**「安全でない」「安全が感じられない」ことに対する解決方法や対策案を書いて下さい。

 (1) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○


 (2) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

4 

### あなたにとって地域とは？

**Q3:**ところで、「あなたが住んでいる地域」と言えば、どのような範囲ですか。ひとつだけ○をつけて下さい。

(1)となり近所の範囲 (2)町内会(自治会)の範囲  
(3)小学校区の範囲 (4)中学校区の範囲  
(5)○○町の範囲 (6)○○市の範囲  
(7)東播磨地域  
(8)その他( )

5 

### 〔回答8〕

Q3:ところで、「あなたが住んでいる地域」と言えば、どのような範囲ですか。選択肢からひとつ選んでください。



回答番号( )  
※「その他」の場合( )

6



あなたは、「あなたの地域」が好きですか？

Q4:今住んでいる地域への「愛着度」はどのくらいですか？尺度の数値をひとつだけ選んで回答して下さい。

慣れ親しんでいる場所(地元、ふるさと)

生活するための場所・特に理由がない

愛着度(強) 10--9--8--7--6--5--4--3--2--1 (弱) 愛着度

7



### 〔回答9〕

Q4:今住んでいる地域への「愛着度」はどのくらいですか？尺度の数値をひとつだけ選んで回答して下さい。



回答番号( )

8



安心して暮らせる地域とは？

Q5:あなたにとって、「安心して暮らせる地域」とはどのようなものですか？

回答例: ○○がある地域  
: ○○がない地域  
: ○○ができる地域  
: ○○に対応できる地域 など

9



### 〔回答10〕

Q5:あなたにとって、「安心して暮らせる地域」とはどのようなものですか？



(1) ○○○○○○○○○○のような地域であってほしい



(2) ○○○○○○ができる地域であってほしい

10



安心して暮らせる地域にするためには？

Q6:「安心して暮らせる地域」にするためには...

- (1) 地域としてどんなことをしたらよいと考えますか？
- (2) また、あなたなら何をしますか(何ができますか)？

11



## 〔回答11〕

Q6:「安心して暮らせる地域」にするためには...

- 💡 (1) 地域としてどんなことをしたらよいと考えますか？
- 💡 (2) また、あなたなら何をしますか(何ができますか)？



12

## 熟慮Part3

このスライドで終わりです

すべての事前学習が終わりました  
お疲れさまでした！

13

# 「熟議 2015 in 兵庫大学」参加者・アンケート

この調査は記名式のアンケート調査です。「熟議 2015 in 兵庫大学」の開催に先立ち、テーマである「加古川地域のちから」に関する考え方、熟議についての認識などを確認するために行います。ご回答は選択肢の番号を右欄に記入するか、指示に従い、直接、記入してください。

なお、当該調査票は兵庫大学にて厳重に保管し、統計的に処理をした結果のみを公表する予定です。調査票にご記入頂くお名前等は熟議の後に行う予定のアンケートとの照合を図るためであり、これらを他の用途に用いることはございません。ご理解の上、ご回答をお願いいたします。

当該アンケートの回答期限は平成 27 年 11 月 10 日 (火) です。返信用封筒にてご回答ください。ご多忙のおり、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いたします。

1. 下記の欄に、あなたのお名前を下記にご記入ください。

お名前	
-----	--

2. 学校生活や社会経験の中で、ワークショップや市民会議、グループ討議など「参加者が議論し、対策や方針を作成する」というご経験はありましたか。1つ選び、右欄に番号を記入してください。

- ① 現在も多くの機会に経験をする（年間5回以上が目安）
- ② 機会は少ないが、現在でも経験をする
- ③ 以前には経験をしたことがあるが最近はない
- ④ これまでほとんど経験をしたことがない

3. 「参加者が議論し、対策や方針を作成する」という方法について、ご経験を踏まえ良い点と悪い点を次の一覧より1つずつ選び、それぞれ右欄に番号を記入してください。なお、良い点、悪い点がない場合、それぞれの欄は空白のままにしてください。

- 〈良い点〉**
- ① 多様な考えを知る機会がある
  - ② 少数意見も平等に扱われる
  - ③ 決定した後の行動が容易である
  - ④ 参加者の満足度が高い
  - ⑤ わからない
  - ⑥ その他 (                      )

- 〈悪い点〉**
- ① 時間や労力がかかりすぎて非効率
  - ② 議論だけではまとまらず決められない
  - ③ 立場が上の人の意見に影響されやすい
  - ④ 感情的な対立が残ってしまう
  - ⑤ わからない
  - ⑥ その他 (                      )

4. この設問は社会人の方のみご回答ください。学生、高校生は、設問 5 にお進みください。  
 グループ討議などグループで活動する場合、参加者が身につけておくべき資質は何でしょうか。例に従い、その重要度を5段階で評価をしてください。

	非常に 重要	5	4	3	2	1	全く重要 ではない
【例】		5	4	3	2	1	
①物事に進んで取り組む自主性		5	4	3	2	1	
②要点を把握し論理的に考える思考力		5	4	3	2	1	
③目標に向かって行動する実行力		5	4	3	2	1	
④状況に合わせて適切に対応する能力		5	4	3	2	1	
⑤人に働きかけ行動を促す交渉能力		5	4	3	2	1	
⑥相互理解のためのコミュニケーション力		5	4	3	2	1	
⑦課題解決をはかるための計画性		5	4	3	2	1	
⑧規律を守ること		5	4	3	2	1	
⑨チームをまとめ適切に運営する能力		5	4	3	2	1	
⑩チームに参画する貢献性		5	4	3	2	1	

5. 「熟議 2015 in 兵庫大学」への参加の以前から、熟議という言葉をご存知でしたか。

- ① 熟議の内容を含めよく知っていた  
 ② 言葉では聞いたことがあった  
 ③ 今回初めて知った

6. 「熟議 2015 in 兵庫大学」に参加しようと思われたのはなぜですか。次より 2 つ以内で選び右欄に番号を記入してください。

- ① 市民の議論により政策の方向を決する熟議という方法に関心があるから  
 ② 「加古川地域のちから～安心・安全を創る～」というテーマに関心があるから  
 ③ 大学が主催する事業に参加したいから  
 ④ 地域での活動全般に関心があるから  
 ⑤ 学校の先生や、属する団体の関係者から参加を勧められたから  
 ⑥ 特に強い理由はないが、なんとなく参加をと思ったから  
 ⑦ その他 ( )



7. 「熟議 2015 in 兵庫大学」の資料や説明、ホームページ等をご覧になり今回の熟議の進め方についてご理解をいただけたでしょうか。1つ選び右欄に番号を記入してください。

- ① 十分に理解することができた
- ② 大体は理解することができた
- ③ あまり理解することができなかった
- ④ ほとんど理解することができなかった

8. 「熟議 2015 in 兵庫大学」での「議論の段階」において、あなたはどのことに最も大きな期待を持っておられますか。下記から1つ選び右欄に番号を記入してください。

- ① 自分の意見を述べる機会があることへの期待が大きい
- ② 他の人の意見を聞くことへの期待が大きい
- ③ どのように議論が進むのか、進め方を知る期待が大きい
- ④ 結論や提案がどのようなものになるのか、結果の期待が大きい
- ⑤ 多くの人と交流したり話をする事への期待が大きい
- ⑥ その他 ( )

**テーマの「加古川地域のちから～安心・安全を創る～」について伺います。**

9. ホームページでの学習資料などをご覧になり、テーマについて十分に熟慮され、ご自身としてテーマについての理解が深まりましたか。

- ① 十分に理解することができた
- ② 大体は理解することができた
- ③ あまり理解することができなかった
- ④ ほとんど理解することができなかった

10. 今から35年後の、2050年において、次の項目に関連して、安心・安全は向上していると思いますか、それとも低下していると思いますか。5段階で評価をしてください。

		向上 ←	←	→	→	低下		
		5	4	3	2	1		
人口減少	人口は維持され安全な国土が保全される	5	4	3	2	1		人口減少により人がすまない地域が荒廃する
医療	医療の発達で健康不安や介護の不安は減る	5	4	3	2	1		支える人が不足し医療・介護崩壊で不安が増す
都市	コンパクトなまちで生活への不安は小さくなる	5	4	3	2	1		道路や橋の補修が困難で安全を維持できない
コミュニティ	コミュニティ活動が活発化し安心な生活の基盤になる	5	4	3	2	1		格差の拡大でコミュニティが分断され社会的排除が進む
経済・財政	財政的な余裕から安心・安全への投資が継続する	5	4	3	2	1		長期低迷が続く財政が破綻する
技術発展	安全や安心のための技術発展が進む	5	4	3	2	1		危険な技術への傾斜により生命が脅かされる

人工知能・ロボット	ロボットが人を支える役割を果たし安心が増す	5	4	3	2	1	仕事を奪われ生活することへの不安が増す
災害	災害の予測精度が上がり安全性が向上する	5	4	3	2	1	災害に備えるだけの財政的、人的余裕がない
環境	優れた環境が維持され安全な生活が可能になる	5	4	3	2	1	汚染が進み、安心して生活するにも費用がかかる

11. 安心・安全を創ることについて、下記のような考え方についてあなたは、賛成ですか、それとも反対ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

		大いに賛成	やや賛成	普通	やや反対	大いに反対
1	人と人の繋がりや信頼が強いほど、安心・安全を創ることに役立つ。	5	4	3	2	1
2	安心・安全を創るためには、住民同士での熟議が必要である。	5	4	3	2	1
3	安心・安全を創ることは、主に自治体や政府の仕事であり、住民の役割は限定されている。	5	4	3	2	1
4	他者との間で信頼関係を築き、ネットワークを形成するには、一人ひとりの能力の向上が必要である。	5	4	3	2	1
5	安心・安全を創るには、堤防や防犯カメラなど、目に見える施設や設備に頼る方がよい。	5	4	3	2	1
6	コミュニティでの日常的な活動が安心・安全を創ることに役立っている。	5	4	3	2	1
7	行政や制度で支援や対応できない場合、住民が互いに助け合うことが必要となる。	5	4	3	2	1
8	安心・安全のためであれば、住民にとって不便になることがあっても仕方がない。	5	4	3	2	1
9	安心・安全を創るのは、地の人 <sup>※</sup> の役割であり、風の人 <sup>※</sup> は関わらないものである。	5	4	3	2	1
10	大学は安心・安全を創るため果たすべき役割がある。	5	4	3	2	1

※「地の人」とは地域活動を支える基礎になる人々で、長く住み、地域にネットワークを持って活動し、地域の変化にも敏感である。地の人には、長い歴史と伝統が蓄積されており、それらを熟知している強みを持つ。また「風の人」とは外から地域に文化をもたらし、考え方をもち活動をする人々で、外から地域に訪れ、その地に魅かれている。外にある変化を捉え、その地域にある頑なな考え方や心情をときほぐす役割を果たす。

12. あなたのご所属先について1つ選び、右欄に番号を記入してください。

- ① 高等学校（高校生）      ② 大学（大学生）      ③ 民間企業  
 ④ 自治体・政府（公務員）      ⑤ NPO・各種団体      ⑥ その他（                      ）  
 ⑦ 無職

今井 俊介

元裁判官、現弁護士  
元兵庫大学教授

## I 「割れ窓理論」をご存知ですか

地域社会・コミュニティは脆弱化し、集団が分散し、これが安全性の崩壊へと導いています。最近の刑事学の関心は、今までの原因論（異常人格・劣悪境遇追求）から機会論（環境犯罪論）へ移行しています。「人間」もさることなく、それ以上に犯罪が行われた「場所」に関心が向いています。「機会無ければ犯罪なし」「どういう場所で犯罪が起きるか」ということです。すなわち犯人の処遇（原因の除去）から予防（物的・人的環境の改善）へと関心が移っています。犯罪者から被害者へと視座が転換していると言っても過言ではありません。

こうしたなかでクローズアップされたのが「割れ窓理論」といわれるものです。

地域の一軒の家の窓ガラスが割れていてそれが何日間か修繕されずに放置されていたとします。このような地区は良い意味での住民の縄張り意識、当事者意識が低く、秩序維持に無関心の場合が多いです。犯行の機会を求めて移動している犯罪者から安全性の意識の希薄性に目をつけられ、危害が発生し拡大します。わずか一枚の窓ガラスから地域共同体の崩壊に繋がる恐れが出てきます。悪を導く小さな芽を早期に、地域挙げて摘んでおく。これこそ犯罪から身を守るイロハです。警察・学校・地域等と情報を共有化し良い意味での小さなおせっかいを積み重ね、地域全体を清潔にすることが必要です。一枚の割れ窓を修理せず放置しておくことが、犯罪者に絶好の機会を与えることになるのです。悪いのは犯人だけではなく、このような機会を作り、またそれを放置し、見逃していた我々被害者も悪いのです。

今井 俊介

元裁判官、現弁護士  
元兵庫大学教授

## Ⅱ加古川市に「刑務所」があるのを御存知ですか

加古川市には、犯罪傾向の進んでいない受刑者を収容する一般区と交通事犯の受刑者を収容する交通区からなる刑務所があり、特に後者は東の市原刑務所に対比し西の「交通刑務所」として知られています。

古く江戸時代、人足寄場といわれる無宿者・前科のある者・自由刑の受刑者などを収容している施設がありました。

江戸には大火が多発したものの、人足寄場は厳重に管理・施錠されているためその都度収容者に多数の死傷者がでました。

あるとき牢の最高責任者（石出帯刀）が、災害時独断で、囚人たちに「戻れば罪一等を減ずる 戻らなければ死罪」という条件で一時釈放しました。多数の囚人が社会へ出て、驚いた市民と衝突し混乱したもののおおむね好評でありました。これは切放（きりはなち）と呼ばれ、後日監獄法（旧）に立法化され今日に至っています。関東大震災、太平洋戦争のころよく実施されたようです。これをさらに明確にし発展させた法律が「刑事収容施設及び被収容者の処遇に関する法律」といわれるものです。これによると

施設の長は①地震・火災等の災害の際被収容者を安全な場所に護送することができる。②それができないときは施設から解放する（被収容者は安全な場所を求めて独自に行動しなければならない）。③解放された被収容者は必要がなくなればすみやかに指定された場所に戻らなければならない（出頭・不出頭の効果は定められていない）。とされています（同法83条）。最近では東日本大震災の時実施されました。

あくまでも実現しないことを望みますが、もし加古川刑務所に非常事態が発生すれば、受刑者服を着た受刑者たちが加古川市内周辺を安全な場所を求めて移動するということが起こりえます。

しかし上記のとおりこれは法律に根拠を置くもので（脱走ではない!）、刑務所のある街の宿命ともいえます。受刑者の持つ人権をしっかり理解し、極度に恐れたり、危害を加えたりしないようにして欲しいと思います（東播磨地域の住民として頭の片隅に入れておいて下さい）。

## 資料集 加古川地域のちから～安心・安全を創る

テーマの「加古川地域のちから～安心・安全を創る」を熟慮する上で、重要と思われる点、また安心・安全を創ることを熟慮するために要する、加古川地域を中心としての、基礎的な状況について理解を深めるために資料を提示します。  
参考のためのページは、**関連リンク集**にも提示されています。

### 目 次

#### 1.加古川地域の安心・安全について

- (1) 現在の安心・安全 ..... 2
  - ①交通事故の現状 ..... 2
  - ②犯罪の現状 ..... 4
  - ③災害の現状 ..... 5
  
- (2) 将来の安心・安全
  - ①災害の発生 ..... 7
  - ②加古川地域の被害 ..... 9
  - ③その他の災害 ..... 10
  
- (3) 将来の生活での安心・安全 ..... 11
  - ①人口の減少と高齢化 ..... 11
  - ②インフラストラクチャーの老朽化 ..... 13

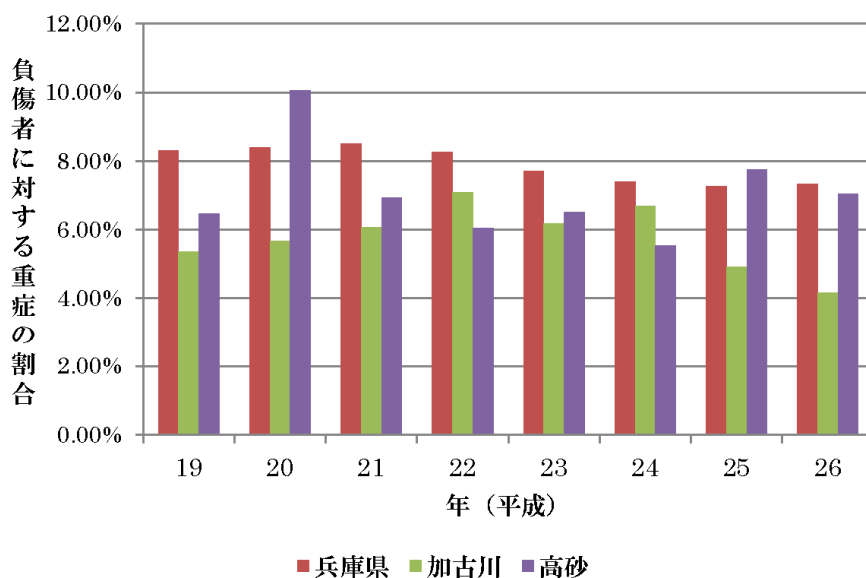
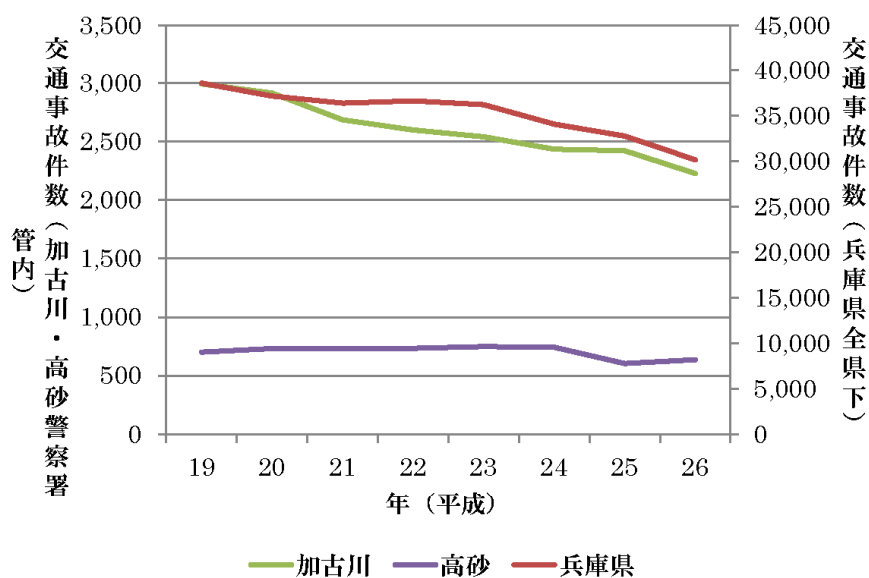
#### 2.「加古川地域のちから」について

- (1) 外形的なちから ..... 17
  - ①財政状況 ..... 17
  - ②働く場所の集積 ..... 19
  
- (2) ソーシャル・キャピタル ..... 20
  - ①ソーシャル・キャピタルとは ..... 20
  - ②住民の特徴 ..... 21

# 1.加古川地域の安心・安全について

## (1) 現在の安心・安全

### ①交通事故の現状



加古川警察署管内の交通事故件数は、平成 19 年に 2,991 件から、減少傾向にあり、平成 26 年には、2,226 件にまで減少をしています。兵庫県全体でも減少傾向にありますが、高砂警察署管内では、平成 24 年までやや増加の傾向にありました。

交通事故の特徴を示すために、次に、負傷者数に占める重傷者の割合を示します。加古川警察署管内の事故は、重傷者の割合は兵庫県全体と比べ小さい傾向があります。所管する高速道路が少なく大規模な交通事故が少ないことが理由として考えられます。

加古川警察署管内、高砂警察署管内での、平成 27 年 1 月～9 月の交通事故の状況は次の通りです。車両同士の事故が加古川署管内では全体の 2/3 を、高砂署管内では 1/2 を占めています。

		加古川警察署管内(27年9月)			高砂警察所管内 (27年9月)
		件数	負傷者	死者	件数
人対車両	横断中	61	62	1	29
	その他	57	57	2	
自転車対車両	出会頭	263	267	1	132
	その他	130	131	1	
車両相互	追突	391	524	0	131
	出会頭	326	401	0	79
	その他	270	321	0	70
車両単独		26	24	3	24
列車		0	0	0	1
合計		1,542	1787	8	466

同じ統計を用い、事故に遭った側（交通弱者）の事情は下記の通りです。高齢者が被害に遭う事故は、加古川署管内では 1,524 件中 428 件で 28.0%、高砂署管内では 466 件中 141 件で 30.3% となり、その割合はと高いことが明らかになります。

	加古川警察署管内(27年9月)			高砂警察所管内(27年9月)		
	件数	負傷者	死者	件数	負傷者	死者
歩行者	118	119	3	—	—	—
自転車	403	408	2	141	142	0
原付・自動二輪	295	305	1	—	—	—
子ども(15歳以下)	92	96	0	—	60	—
高校生	91	97	1	—	17	—
高齢者	428	489	4	141	106	0

詳しい情報を見たい方は、兵庫県警察本部、または加古川警察署、高砂警察署のホーム

ページをご覧ください。

- <https://www.police.pref.hyogo.lg.jp/sonota/toukei.htm> (兵庫県警各種統計)
- <https://www.police.pref.hyogo.lg.jp/ps/30kakogawa/index4.htm> (加古川警察署統計・マップ)
- <http://www.police.pref.hyogo.lg.jp/ps/31takasago/index4.htm> (高砂警察署統計・マップ)

## ②犯罪の現状

	加古川				高砂			
	25年 12月末	26年 12月末	26年 8月末	27年 8月末	25年 12月末	26年 12月末	26年 8月末	27年 8月末
刑法犯総数	4,567	3,865	2,605	2,330	1,157	1,115	776	597
街頭犯罪・侵入犯罪	3,077	2,517	1,716	1,431	830	778	558	391

	稲美町				播磨町			
	25年 12月末	26年 12月末	26年 8月末	27年 8月末	25年 12月末	26年 12月末	26年 8月末	27年 8月末
刑法犯総数	387	260	187	142	345	321	217	179
街頭犯罪・侵入犯罪	238	139	108	72	237	223	159	130

加古川地域の各市町別の刑法犯総数について、加古川市は25年、26年では15%、25年と26年の同期間比で10%減少をしています。全ての地域で犯罪件数は減少傾向にあります。兵庫県全体を見ても、平成26年中の刑法犯は、64,911件で、前年の70,532件に比べて8.0%減少しています。また、街頭犯罪・侵入犯罪が刑法犯の2/3を占めています。

では、犯罪の特徴を明らかにするために、その詳細を示してみましよう。

	加古川				高砂			
	25年 12月末	26年 12月末	26年 8月末	27年 8月末	25年 12月末	26年 12月末	26年 8月末	27年 8月末
路上強盗	5	3	1	1	0	0	0	1
ひったくり	14	10	6	14	2	3	3	7
車上ねらい	345	239	165	196	93	71	46	45
部品ねらい	296	167	111	88	55	50	29	28
自動車盗	37	29	18	7	15	7	5	6
オートバイ盗	158	130	82	34	41	49	43	21
自転車盗	1,272	1,127	805	507	305	274	187	133
空き巣	106	105	48	69	29	30	24	23
忍込み	33	36	26	59	18	18	15	1



	稲美町				播磨町			
	25年 12月末	26年 12月末	26年 8月末	27年 8月末	25年 12月末	26年 12月末	26年 8月末	27年 8月末
路上強盗	0	1	0	0	2	0	0	0
ひったくり	0	0	0	0	0	2	2	3
車上ねらい	73	25	20	17	25	23	16	14
部品ねらい	27	12	8	2	35	30	22	18
自動車盗	14	7	4	1	7	2	2	0
オートバイ盗	14	4	4	3	14	4	4	3
自転車盗	10	12	9	4	58	70	52	28
空き巣	10	8	7	5	14	10	6	6
忍込み	1	7	6	4	3	2	1	0

特に加古川市は、自転車盗が多いことがわかります。稲美町や播磨町は車上ねらいなど、自動車を対象とする犯罪が多くなっています。重大な犯罪で報道されることもありますが、加古川地域では、自転車や自動車を対象とする路上での窃盗などの軽犯罪が多いとおもわれます。なお、詳しい情報を見たい方は、兵庫県警察本部のホームページをご覧ください。

### ③災害の現状

穏やかな瀬戸内海に面する加古川地域は、一般には自然災害が少ない、と認識をされているようです。しかし、梅雨前線に伴う豪雨による土砂災害、台風に伴う高潮、洪水などにも見舞われた過去があります。

現在、各地域では、ハザードマップを作製し、公開しています。ハザードマップは、過去の災害や地形などを元にして、自然災害による被害を予測し、その範囲を地図化したものです。予測される災害の発生地点、被害の拡大範囲および被害程度、さらには避難経路、避難場所などの情報が図示されます。ハザードマップは、津波や災害別に作成されているケースもあります。次ページの図は、加古川の浸水想定区域図になります。



加古川地域の市町のハザードマップは、下記のページを参考にしてください。

- <http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/> (兵庫県)
- <http://www.city.kakogawa.lg.jp/hp/hazardmap/index.html> (加古川市)
- <http://www.city.takasago.hyogo.jp/index.cfm/16,0,152,823,html> (高砂市)
- [http://www.town.hyogo-inami.lg.jp/category\\_list.php?frmCd=1-2-8-2-0](http://www.town.hyogo-inami.lg.jp/category_list.php?frmCd=1-2-8-2-0) (稲美町)
- [http://www.town.harima.lg.jp/kurashi/kurashi\\_bosai/kurashi\\_bosai\\_bosai/kurashi\\_bosai\\_bosai\\_bosaimap.html](http://www.town.harima.lg.jp/kurashi/kurashi_bosai/kurashi_bosai_bosai/kurashi_bosai_bosai_bosaimap.html) (播磨町)

## (2) 将来の安心・安全

### ①災害の発生

最も懸念されます、南海トラフ周辺を震源とする地震（南海地震、東南海地震、東海地震）の、今後 10, 30, 50 年以内の地震発生確率は次の通りです。これらはプレート境界においてほぼ一定期間で発生すると見込まれる巨大地震です。そのため、過去の地震発生状況からその周期を割り出し、現在のひずみ具合を調査することで発生する確率を計算することができます。

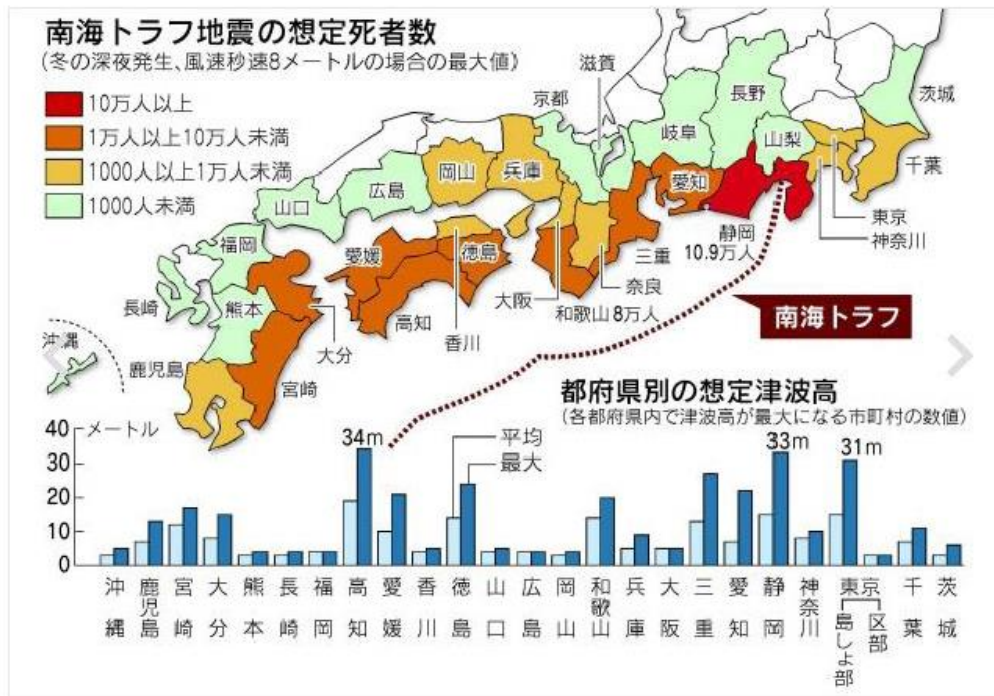
表から、少なくとも 30 年以内では、70%の確率で発生する、と考えられています。



領域または地震名	長期評価で予想した地震規模（マグニチュード）	地震発生確率			地震後経過率（注2）	平均発生間隔（上段）
		10年以内	30年以内	50年以内		最新発生時期（下段：ホアッ過程を適用したものを除く）
南海トラフ	M8～M9 クラス	20%程度	70%程度	90%程度	0.78	次回までの標準的な値 88.2年
						69.0年前

地震調査研究推進本部事務局(文部科学省研究開発局地震・防災研究課)

それらが連動して発生する可能性もあり、その場合は、地図のように関東から九州にかけての広い範囲で多大な被害が発生すると見込まれます。



### 経済的被害

	想定東海地震、東南海地震、南海地震の震源域が同時に破壊される場合	(参考) 東南海地震、南海地震の震源域が同時に破壊される場合	(参考) 想定東海地震
直接被害 (個人住宅の被害、企業施設の被害、ライフライン被害等)	約40兆～約60兆円	約29兆～約43兆円	約19兆～約26兆円
間接被害			
生産停止による被害	約13兆～約21兆円	約9兆～約14兆円	約7兆～約11兆円
東西間幹線交通寸断による被害	約5兆～約8兆円	約4兆～約5兆円	約3兆円
地域外等への波及	約0.5兆～約2兆円	約0.3兆～約1兆円	約0.5兆～約2兆円
地域外等への波及	約7兆～約11兆円	約5兆～約8兆円	約4兆～約6兆円
合計	約53兆～約81兆円	約38兆～約57兆円	約26兆～約37兆円

より詳しい資料が必要な方は、下記をご参照ください。

- <http://www.jishin.go.jp/> (地震調査研究推進本部)
- <http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuknowledge.html> (気象庁)
- <http://www.bousai.go.jp/jishin/index.html> (内閣府防災情報)

## ②加古川地域の被害

南海トラフを震源とする巨大地震とそれに伴う津波が発生した場合の、加古川地域の被害想定結果は次の通りです。

	加古川市	高砂市	稲美町	播磨町
震度（最大面積を占める）	震度 6 弱	震度 6 弱	震度 6 弱	震度 6 弱
最大津波水位（m）	2.2	2.3		2.2
全壊棟数	3314	1422	230	354
半壊棟数	16,558	8381	1,744	1,685
死者数（冬 18 時）	212	171	14	18
負傷者数（冬 18 時）	2,357	1,240	337	238

詳細な内容については、下記のページから取得することができます。

○ <https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk38/jishintsunamihigaisoutei.html>（兵庫県／防災）

南海トラフを震源とする巨大地震以外にも加古川地域を通るような断層がもたらす自身の危険性もあります。東日本大震災と同様のトラフ型の地震ではなく、阪神・淡路大震災のような直下型の断層が加古川地域にあります。それは山崎断層帯にある草谷断層で、三木市から加古川市にかけて分布する、長さ 13km の断層です。



山崎断層（主部）の活動頻度は 1800～2000 年であり、歴史に残る最新の活動が 868 年の播磨国地震であることから、今後 30 年以内の地震発生確率は 0.09%～1.0%です。また

加古川地域直下にある草谷断層では、6500年程度が活動頻度され、30年以内の地震発生確率はほぼ0.0%です。とはいえ、直下型地震ですので、その被害は相当に大きいと考えられます。下表がその予測です。

	加古川市	高砂市	稲美町	播磨町
震度（最大面積を占める）	震度7	震度7	震度6強	震度6強
全壊棟数	121,882	45,825	17,010	12,800
（全壊率）	9.69	11.5	3.48	6.23
死者数（午前5時）	748	331	38	51
負傷者数（午前5時）	4,288	1,732	301	423

詳細な内容については、下記のページから取得することができます。

- <https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk38/jishinhigaisoutei.html>（兵庫県／防災）

### ③その他の災害

安心・安全を脅かすのは自然災害だけではなく、人的な災害も存在します。

加古川地域には、沿岸地域に各種の大型工場が林立しており、コンビナート災害を含む工場災害や環境汚染などが懸念されます。工場災害などは人のミスで生じるものや、意図的な妨害（サボタージュ）、経済至上主義から安全への配慮がなされていないことなど、人が関わって発生します。これらが人的災害です。安心・安全のために工場の周囲に緩衝帯を設けたり、自治体や住民との間で安全協定が結ばれたりもします。また、人的災害には、テロリズムも含まれます。その他、国外から人や家畜に有害で危険をもたらすウィルスや病原菌、生物が持ち込まれることも、人の手を介する人的災害といえるでしょう。

さらに、技術の発達により、安心・安全が増す一方で、その逆も存在します。ICT（情報通信技術）により、便利になった半面、プライバシーの保護などが、故意にではなくても破られることがあり、私たちの生活の安心・安全を脅かしています。これも新たな人的災害といえることができるでしょう。

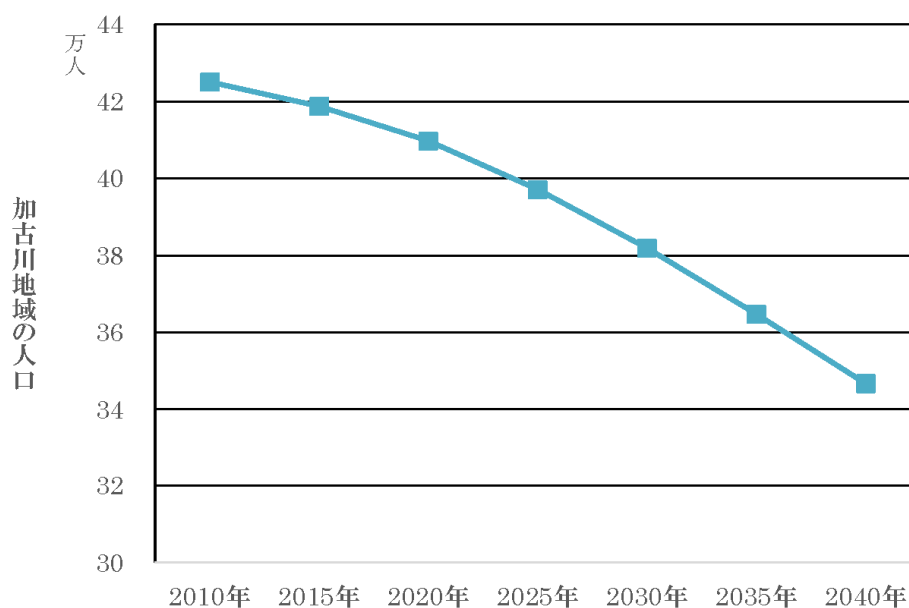
他にも事例を知りたい方は、次のようなページを参照されてはいかがでしょうか。

- <http://www.sozogaku.com/flkd/>（失敗知識データベース）
- <http://www.npa.go.jp/cyber/deai/index.html>（警視庁サーバー犯罪対策）
- <https://www.seirogan.co.jp/fun/infection-control/infection/pandemic.html>（大幸薬品健康情報局）
- <http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/j-terr.html>（厚生労働省「国内の緊急テロ対策関係」ホームページ）

### (3) 将来の生活での安心・安全

#### ①人口の減少と高齢化

日本に居住される方の人口の減少が懸念されています。加古川地域の人口の予測は次の通りです。2040年には、加古川地域の人口は現在よりも8万人も減少する、という予測が出ています。これは現在6人の中で1人減ることになります。



国立社会保障・人口問題研究所

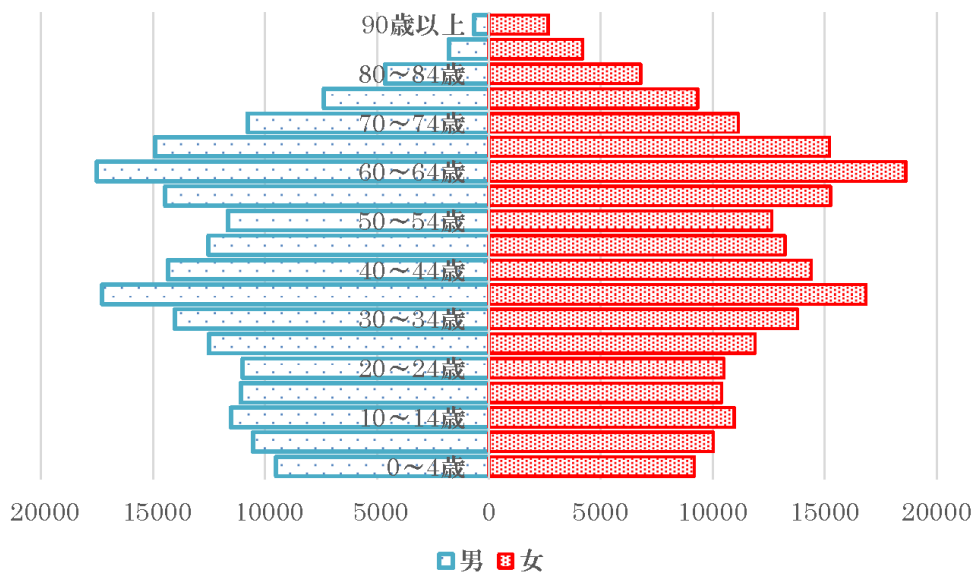
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
加古川市	266,937	264,051	259,251	252,186	243,508	233,546	222,976
高砂市	93,901	92,201	90,010	87,050	83,529	79,619	75,518
稲美町	31,026	29,963	28,815	27,387	25,746	23,974	22,193
播磨町	33,183	32,525	31,678	30,509	29,124	27,599	26,045
加古川地域	425,047	418,740	409,754	397,132	381,907	364,738	346,732

いずれの市町とも人口は減少する傾向にあります。現在、いずれの市町も、まち・ひと・しごと総合戦略を立案、人口の減少を食い止めるような政策を考えています。

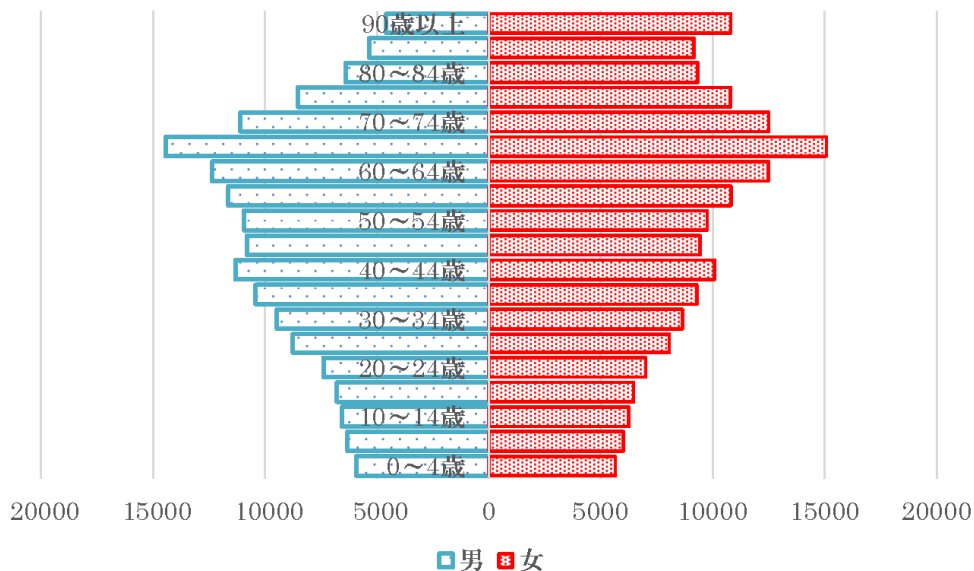
もう一つの問題は、高齢化です。2010年と2030年の加古川地域の人口ピラミッドを示しておきます。

2010年では、団塊の世代が高齢者となりますが、30年後の2040年には、団塊の世代の子どもの世代（団塊ジュニア）が高齢者になります。2040年の人口ピラミッドが「壺型」であることに注目してください。高齢者が、幼少の方よりも多い時代が到来します。

2010年



2040年





人口が減少する場合、対人サービス（教育、医療、福祉など）を担う人材が不足する他、道路や橋など、インフラストラクチャーを維持するための人材も不足することになります。その場合、道路の陥没や橋の崩落などの事故の危険性が拡大します。また大きな災害からの復興が遅れたり、救援のためのボランティアなども少なくなったりする可能性があります。人口は安心、安全を確保するために必要な要素であったりします。

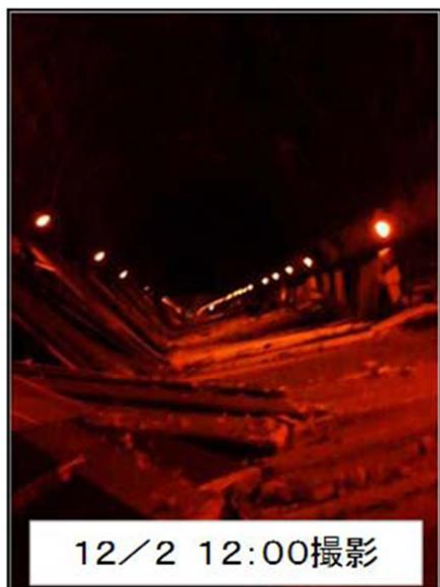
人口問題について、さらに詳しい状況は、下記のページをご覧ください。

○ <http://www.ipss.go.jp/index.asp>（国立社会保障・人口問題研究所）

## ②インフラストラクチャーの老朽化

インフラストラクチャー（インフラ）とは、社会資本と訳されます。道路や橋梁、公園、鉄道、上下水道など、経済活動や私たちの生活、つまり社会にとって欠かすことのできない設備や施設のことをいいます。

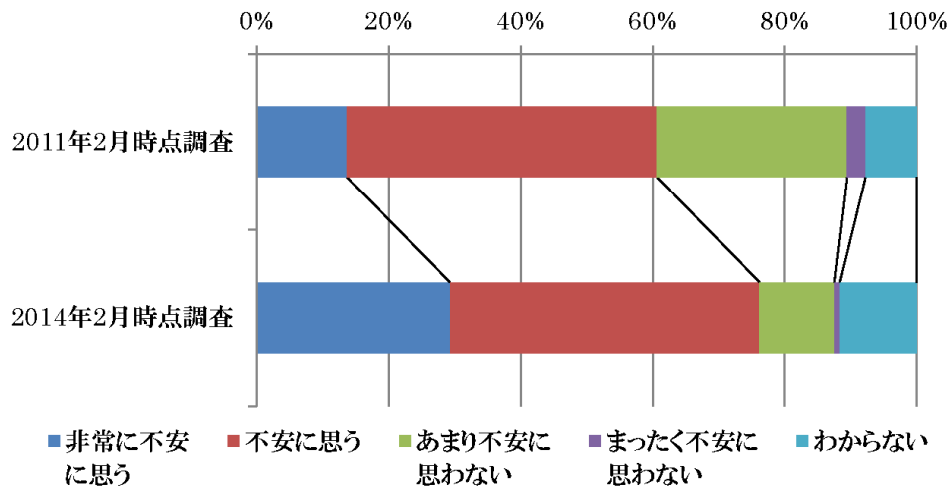
このインフラの老朽化が課題となっています。下の写真は、大惨事となった2012年12月の中央道笹子トンネル(山梨県大月市)の天井板崩落事故の写真です。高度経済成長期に建設された道路、橋梁などの老朽化への懸念が現実のものとなったのです。



国土交通省 中央自動車道笹子トンネル天井板の落下事故について  
(第42回基本政策部会資料抜粋 (2013年2月6日))

今、インフラについての関心も高まっています。インフラの老朽化についての国土交通省のアンケート結果を示しておきます。3年間で、非常に不安と思う人が2倍以上に増加をしています。安心、安全ではない、と思う人が増えているのです。

老朽化が進行するなかで社会インフラの今後について  
不安に思う程度



(平成 25 年版 国土交通白書)

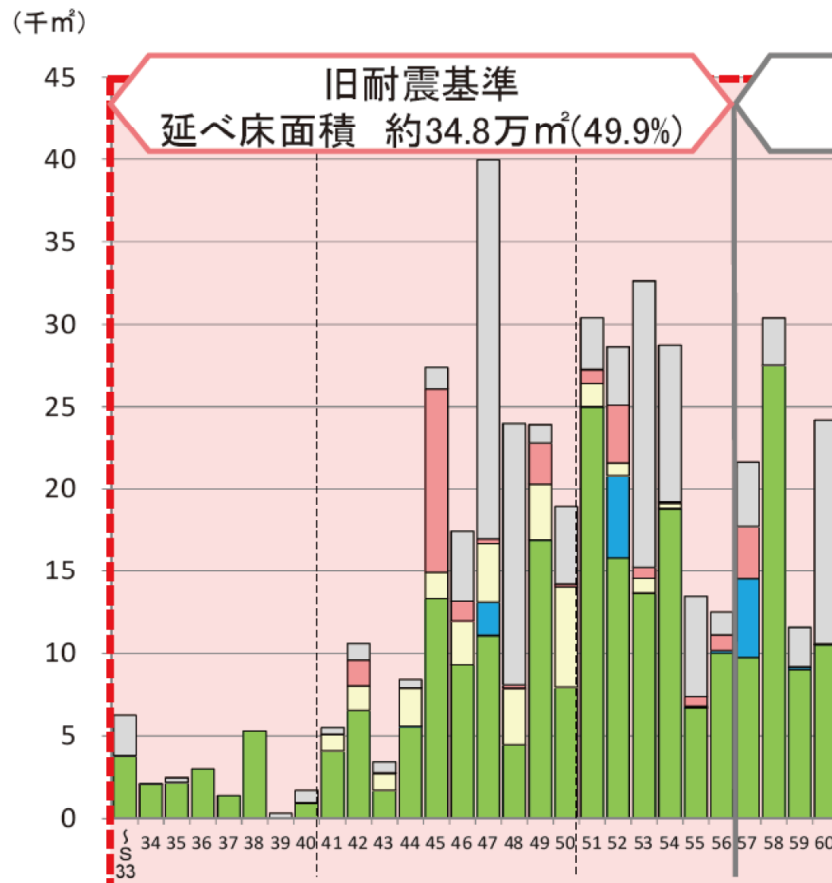
建設後 50 年以上経過する社会資本の割合

種類	対象	2013 年 3 月	2023 年 3 月	2033 年 3 月
道路橋 (橋長 2m 以上)	40 万の橋 (全体では 70 万の橋があるが 30 万橋は建設年度が不明)	約 18%	約 43%	約 67%
トンネル	約 1 万本 (約 250 本は建設年度が不明のため、除く)	約 20%	約 34%	約 50%
河川管理施設 (国管理の水門等)	1 万か所。(このうち 1000 箇所は建設年度が不明であるが、50 年以上経過していることが明らか。)	約 25%	約 43%	約 64%
下水道管きよ	総延長約 45 万 km。(建設年度が不明な 1.5 万 km を含むが明らかに 30 年以上を経過しており、これを案分した)	約 2%	約 9%	約 24%
港湾岸壁 (水深 -4.5m 以深)	約 5000 施設。(建設年度が不明な 100 施設を除く)	約 8%	約 32%	約 58%

インフラについては、建設後 50 年程度で、老朽化が進み、維持が難しくなると言われます。上の表は日本全体での、建設後 50 年を経過するインフラがどの程度あるかを示しています。相当の量のインフラが老朽化し、維持が難しくなることが予想されます。

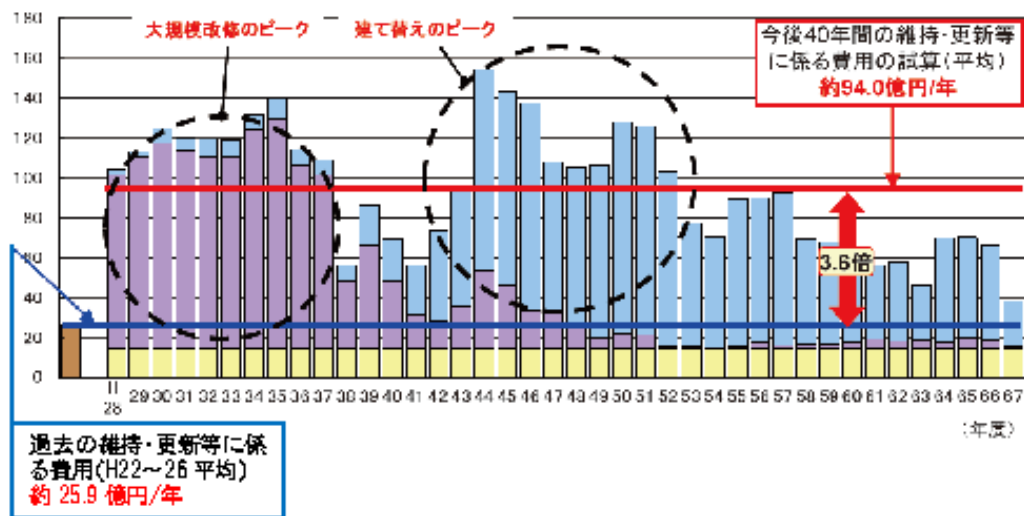
これは、加古川地域でも同様です。加古川地区は、高度成長期に工業都市として発展し

たこともあり、人口が急増する昭和40年代から、市民向けの公的な建物が数多く建設されました。下記図は加古川市での昭和60年までの公共施設の建設状況です。全体の公共施設の2/3を占めています。これらが建設後30年以上を経過しています。今後、維持にもお金がかかります。



■ 学校教育施設 ■ 市営住宅 ■ 行政系施設 ■ スポーツ・レク施設 ■ その他  
(加古川市の公共施設等を取り巻く現状と課題)

加古川市では、今後、これまで建設された公共施設の維持経費に、従来の4倍近い金額を要すると試算をしています。実際には、それ以前に、維持、管理のための方法がとられたり、一部の施設やインフラを取り壊してこれ以上のコストがかからないようにしたりすると思われます。取り壊されたインフラや設備が、地域の安全にとって課題となることも懸念されるのです。



(加古川市の公共施設等を取り巻く現状と課題)

さらに詳しいことを知りたい方は、下記のページや資料をご覧ください。

- <http://www.mlit.go.jp/statistics/file000004.html> (国土交通白書のページ)
- [http://www.city.kakogawa.lg.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/3/genjyotokada\\_i.pdf](http://www.city.kakogawa.lg.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/3/genjyotokada_i.pdf) (加古川市の公共施設等を取り巻く現状と課題《PDF ファイル》)
- [http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/point/sosei\\_point\\_mn\\_000003.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/point/sosei_point_mn_000003.html) (国土交通省 社会資本の老朽化対策に関する国土交通省の主な取組)
- [http://www.zenken.com/kensyuu/kousyuukai/H26/609/609\\_tanaka.pdf](http://www.zenken.com/kensyuu/kousyuukai/H26/609/609_tanaka.pdf) (道路の老朽化対策の本格実施について《PDF ファイル》)

## 2. 「加古川地域のちから」について

加古川地域のちから、というテーマですが、「ちから」=Power とは、モノを動かす原動力であり、環境や他者へ働きかける力と考えることができます。加古川のちから、とは加古川（地域）が持つ、加古川地域を変革するための影響力ということもできます。主として市民が加古川地域をよりよくするために、つまり内への方向への影響力を想定しています。その源泉として具体的には、地域に存する NPO やボランティアなどの組織、人材などの地域の資源、いわゆるソーシャル・キャピタルとされるネットワークや互恵に基づく関係、「ちから」を発揮するために必要な金融や制度、機関などが考えられます。それらをいかに組み合わせ、実現可能な方法を導き出すのが熟議に期待されると思われま

### (1) 外形的なちから

#### ①財政状況

平成 26 年度の決算（最新のデータ）に基づく、加古川地域の市町の財政状況を示しておきます。加古川地域の自治体の場合、比較的堅調な財政を維持しています。

（金額：100 万円）

	歳入総額	歳出総額	基金残高	財政調整基金	地方債現在高
加古川市	78,478	77,689	18,282	5,344	77,723
高砂市	35,996	34,717	4,993	2,646	33,736
稲美町	10,054	9,460	4,264	2,442	8,469
播磨町	11,227	10,315	7,032	4,704	8,264

(%)

	経常収支比率	実質公債費比率	将来負担率
加古川市	91.1	5.9	-1.5
高砂市	86.4	9.6	76.3
稲美町	86.0	7.5	11.8
播磨町	91.4	2.7	-146.5

歳入は、それぞれの自治体の 1 年間の収入になります。ここでは、一般会計という、いわゆる市役所や町役場のしごとの中核となる事業に必要なお金に関する部分を対象にしています。加古川市は 780 億円もの仕事をしていることがわかります。皆さんへの税金や公債という借金、さらに国や県からの支出金を積み上げたものが歳入になります。逆に、歳出は 1 年間の支出になります。基金、というのは貯蓄です。基金にもいろいろ種類があるのですが、財政調整基金は、家計簿での普通預金のようなもので、税金などの収入が足り

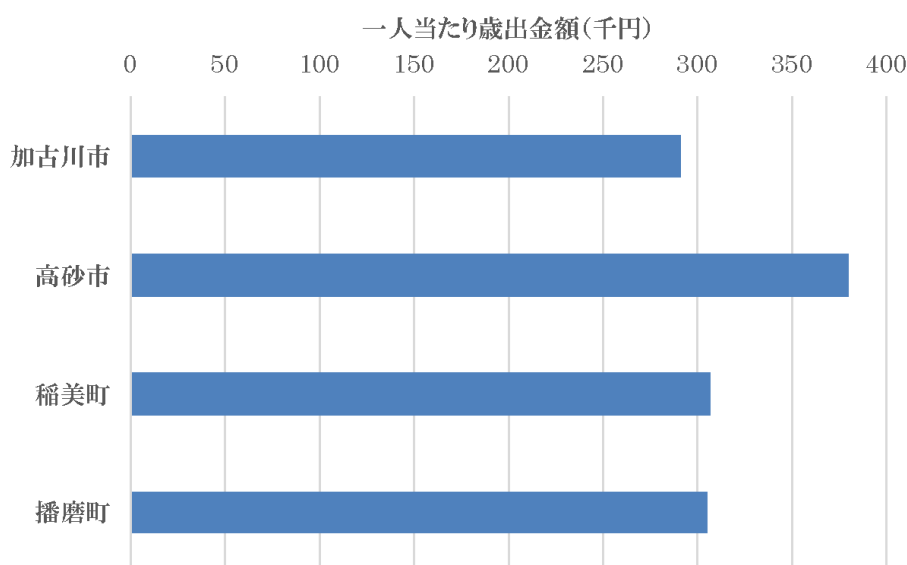
ない場合、これを取り崩してお金を賄います。**地方債**は借金に相当するものです。

これらの数字から作成した指標が二段目の表です。

**経常収支比率**は、経常的経費に経常一般財源がどの程度充てられているかを示した比率です。経常的経費は家計での必要経費（例えば家賃や光熱水費、食費など）です。経常一般財源というのは、臨時収入以外で入ってくるお金、ということです。この割合が低ければ、臨時の支出があっても柔軟に対応できることになります。90%であれば十分とされますので、加古川地域の市町は柔軟に対応できるだけの財政状況といえます。

次に、**実質公債費比率**ですが、毎年、実際に返さなければならない元利償還金が、標準財政規模と呼ばれる通常水準の行政活動を行う場合に必要な金額に対する割合です。家計で例えれば、毎年の借金返済額が普通の家庭での家計の規模に対する割合を示しています。つまり、これが大きければ、借金返済が大変、ということになります。国では、これが25%を超えれば、財政再建のための計画策定を行わなければならない、と定めています。加古川地域で一番高い高砂市も9.6%ですから、過大な借金返済となっていません。

**将来負担率**は、家計では、全ての借金の総額や必ず出て行くであろう金額から預貯金を差し引いた、実質的な借入額を先ほどの普通の家庭での家計の規模で割ったもので、将来どうしても必要になる返済が家計にとってどれだけ重圧になるかを示すものです。これが350%を超えれば赤信号です。加古川地域は、播磨町がマイナスの数字を示すなど、赤信号には相当に遠いことがわかります。



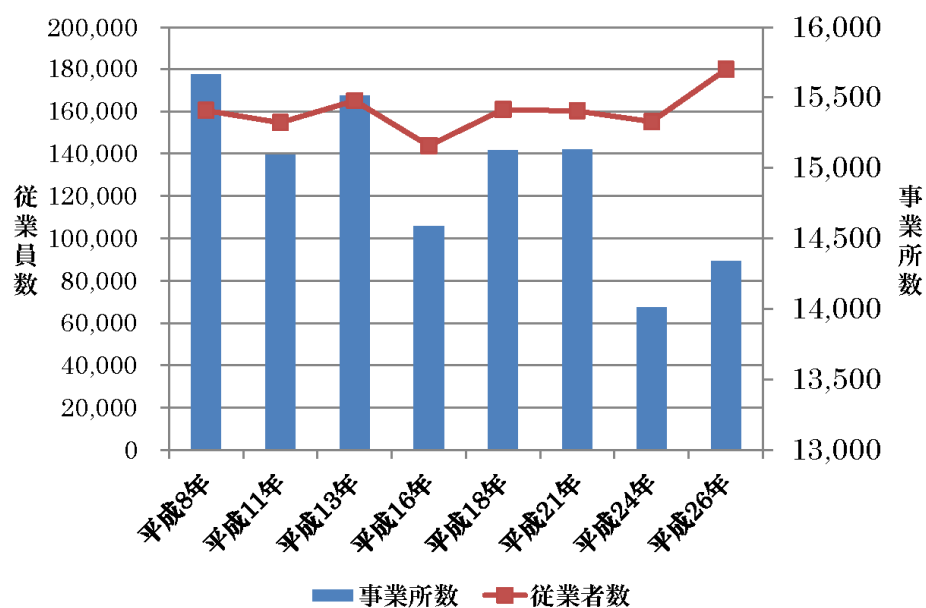
一人当たりの歳出総額は、高砂市がやや高く、38万円あまりですが、加古川市、稲美町、播磨町は30万円程度、となっています。

現在は、ますます良好といえる加古川地域の市町の財政状況です。しかしこれがこのま

ま将来も継続する保証はありません。市民がこれからもお金の使い道をチェックする姿勢が必要になります。

○ [https://web.pref.hyogo.lg.jp/pa05/pa05\\_000000120.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/pa05/pa05_000000120.html) (県内市町の財政状況)

## ②働く場所の集積

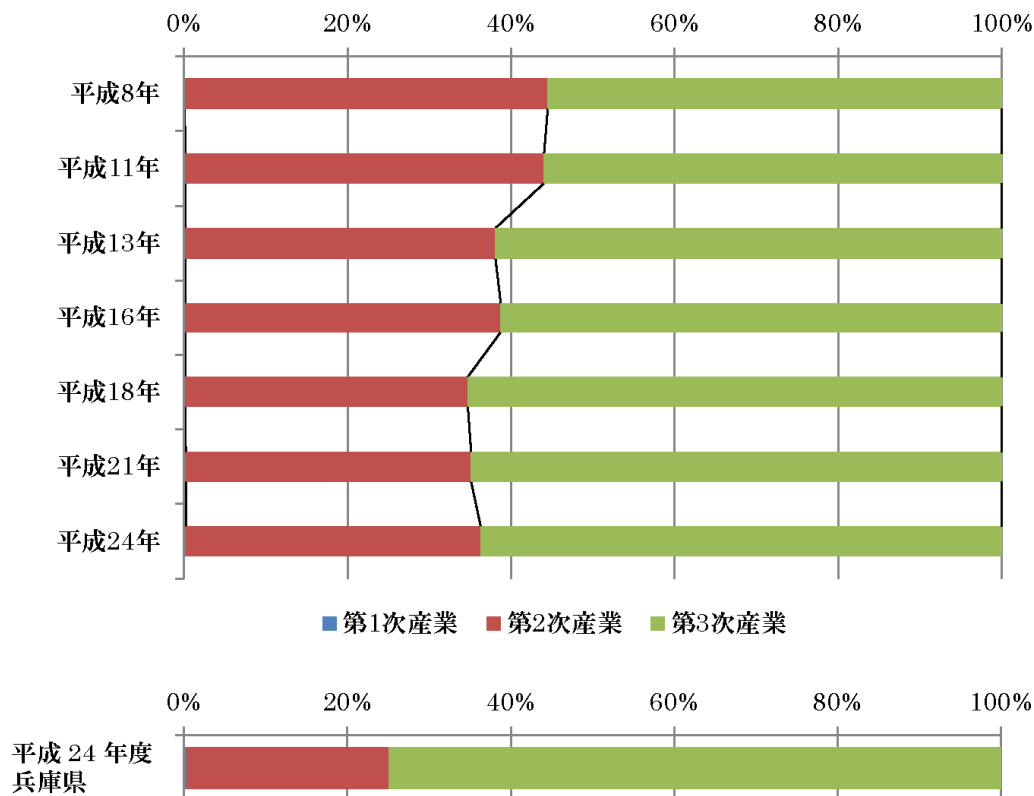


働く場所として、事業所数と従業者数の推移を示します。加古川地域の事業所数は、やや減少傾向にあります。従業者数は必ずしも減少しておらず、比較的雇用としては恵まれていると考えられます。これは兵庫県全体でも同じ傾向が見られます。

産業分類別の推移を示しておきます。

加古川地域の産業構造では、第3次産業が中心となる傾向が見られます。しかしながら、製造業を中心として、第2次産業が盛んであることも特徴と言えるでしょう。これは製造業が多く集積をしているためです。比較のために、平成24年度の兵庫県の産業構造を示しておきます。

製造業は、サービス業全般と比べますと生産性が高い（従業員一人あたりの付加価値額が高い、という意味になります）ことが知られています。そのため、所得面でも有利とされます。雇用の面ではちからがあるのかもしれませんが。



データの詳細は、下記のページをご参照ください。

○ [https://web.pref.hyogo.lg.jp/stat/cate3\\_708.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/stat/cate3_708.html) (兵庫県統計、経済センサス)

## (2) ソーシャル・キャピタル

### ① ソーシャル・キャピタルとは

ソーシャル・キャピタルは、アメリカの政治学者パットナムにより定義されました。これは、人々の協調行動を活発にすることによって、社会の効率性を高めることのできる、「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴とされます。つまり、ソーシャル・キャピタルが高い地域、例えば、信頼性が高い地域で商売をする場合、騙される不安が少ないため、それに備えるコストが不要になります。そのため、信頼がない地域と比べて効率性が上がることになります。

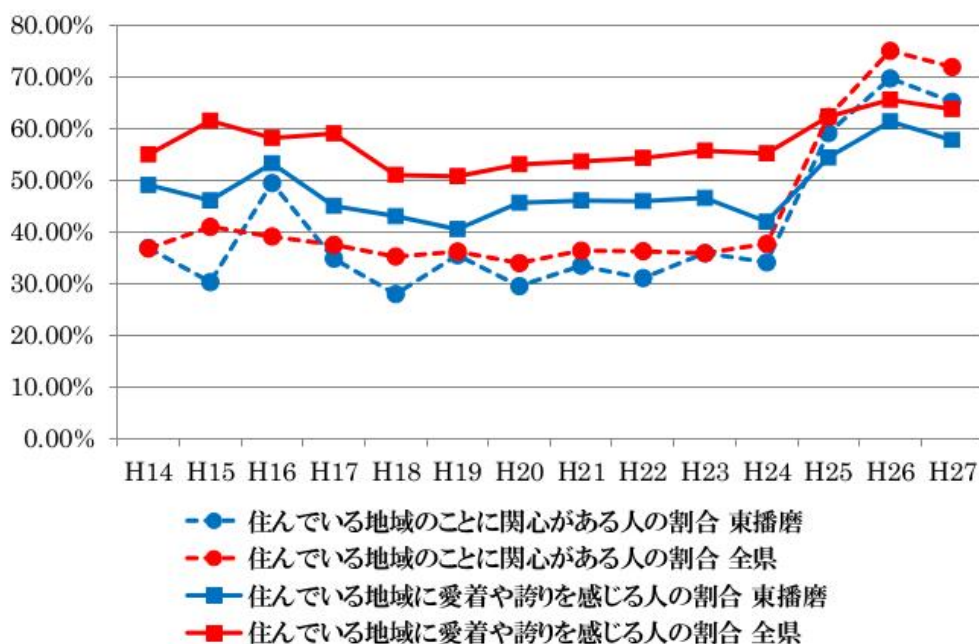


各構成要素における個別指標

構成要素	(サブ指標)	採用する個別指標
I. つきあい・交流	(近隣でのつきあい)	(i) 隣近所とのつきあいの程度 (ii) 隣近所とつきあっている人の数
	(社会的な交流) 単純平均値を算出 ↓ つきあい・交流指数	(iii) 友人・知人とのつきあいの頻度 (iv) 親戚とのつきあいの頻度 (v) スポーツ・趣味・娯楽活動への参加状況
II. 信頼	(一般的な信頼)	(VI) 一般的な人への信頼
	(相互信頼・相互扶助) 単純平均値を算出 ↓ 信頼指数	(VII) 近所の人々への信頼度 (VIII) 友人・知人への信頼度 (IX) 親戚への信頼度
III. 社会参加	(社会活動への参加) 単純平均値を算出 ↓ 社会参加指数	(X) 地縁的な活動への参加状況 (xi) ボランティア活動者率 (xii) 人口一人当たり共同募金額

(出典：平成 19 年度版国民生活白書)

②住民の特徴



ここからは兵庫県豊かさ指標と呼ばれる、住民へのアンケート調査を元に、加古川地域の住民の特徴、ソーシャル・キャピタルの状況を明らかにします。ただ、統計は東播磨地

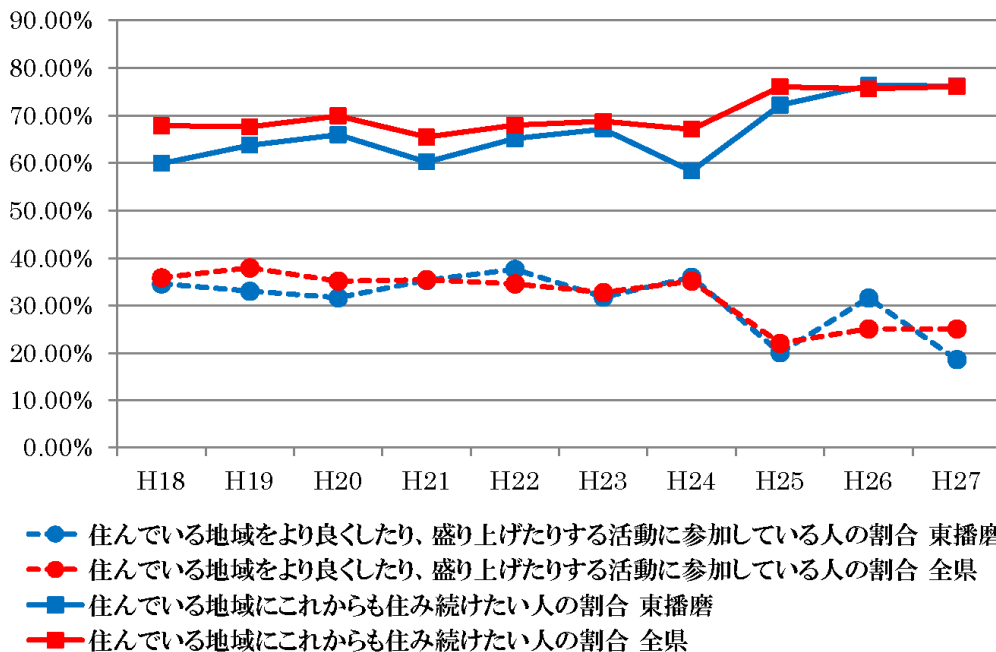
域を対象としていますので、加古川地域である、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町の他、明石市も含まれます。

最初は地域への関心や愛着を持つという項目です。地域と自分との関係です。

東播磨地域では、住んでいる地域のことに関心がある人の割合は、平成 24 年度までは、40%を下回っています。同様に全県の場合と同様の傾向を示しています。

次に、住んでいる地域に愛着や誇りを感じる人の割合については、東播磨地域では、平成 24 年度までは 50%を下回っています。また、東播磨地域は兵庫県よりもその割合が低くなっています。

地域への関心、愛着は地域の安心や安全と関係があります。地域に関心がなければ、地域を観察して危険を見出す機会が減少するためです。

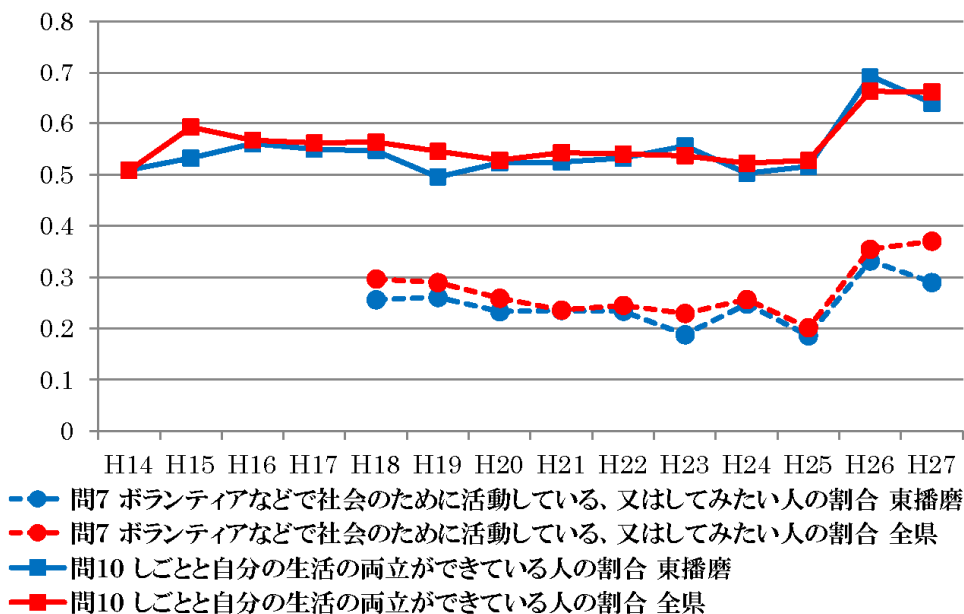
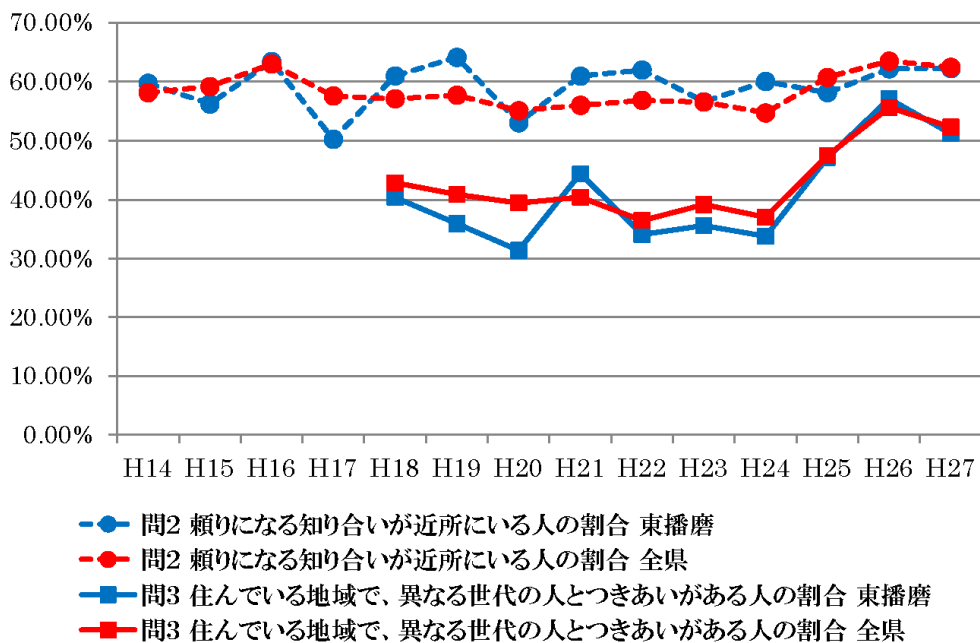


この地域に住み続けたい、という方は多いようです。しかし、その一方で、活動をしている人の割合は小さい、という結果が得られました。住み続けるためには、いろいろと活動をして欲しいのですが、その割合は低下する傾向にあるようです。ただし、これは東播磨だけではなく、全県下とほぼ同様の傾向とも思われます。

次に、地域における他者との関係を図に示します。

近所に頼りになる人がいる、つまり近所づきあいが盛んである、信頼があるという回答は 6 割程度を占めています。これは東播磨、全県下とも同様の傾向を持っています。

また異なる世代の人との付き合いがある人の割合は、平成 24 年度から上昇する傾向が見られます。幅広く地域での関係を深めようとしているのかもしれませんが。



自分の生活においてバランスがとれている（ワークライフバランスと呼びます）割合は高いのですが、ボランティア活動に勤しむ方は少ないようです。仕事以外にも社会に役立つことも人生のバランスには必要になります。

ボランティアで社会のために活動している人、またしてみたい人の割合は平成 26 年度から上昇する傾向にあるようです。ただ、東播磨地域の場合、その比率は全県下よりも低いことがわかります。

このように、ソーシャル・キャピタルの観点から東播磨のちからを考えて頂くことも大事ではないでしょうか。

以上の内容について、より詳細な情報が欲しい方は、下記のページをご覧ください。

- <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000011w0l-att/2r98520000011w95.pdf> (厚生労働省資料「ソーシャル・キャピタル」《PDF ファイル》)
- [https://web.pref.hyogo.lg.jp/pref/cate3\\_638.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/pref/cate3_638.html) (「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査)

## 高等学校における熟議に関する授業

### 授業のねらい

グループでの話し合いから、新たな知見を作り上げていく過程を学ぶことにより、「熟議 2015 in 兵庫大学」での議論の円滑な進行を可能にするとともに、市民の一人として議論に加わることの意義を踏まえ、もって熟議の有用性についても理解を深める。

### 授業内容

タイトル	内容
熟議とはなにか	<p><b>【概要】</b>「熟議 2015 in 兵庫大学」についての説明と民主主義国家における熟議の意義を学びます。</p> <p><b>【取り上げる項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熟議の定義（熟慮して議論をすること）の説明。</li> <li>・ 兵庫大学での熟議の様子やその成果に関する提示。</li> <li>・ 議会制民主主義を補完する熟議の意義と役割についての解説。</li> </ul>
ワークショップの役割	<p><b>【概要】</b>ワークショップがどのような場面で採用されているか、具体的な進め方について学びます。</p> <p><b>【取り上げる項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークショップの種類や意味。「モノ」を作り上げる機会であること。</li> <li>・ ディベートとの違いやワークショップ形式として、話し合いながら結論を導き出すことの意味。</li> <li>・ KJ 法とその応用。</li> <li>・ ファシリテーターの役割。</li> </ul>
ワークショップ実践	<p><b>【概要】</b>グループに分かれてワークショップを実践しましょう。ファシリテーターは教員が務めます。</p> <p><b>【取り上げる項目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイスブレイキングを兼ねてのグループ分け。（※グループが一つの場合はアイスブレイクのみ）</li> <li>・ テーマについて、各自での考察。</li> <li>・ 考察したことをポストイットに、1つの項目を1枚に記載。</li> <li>・ 発表しながら模造紙に貼付。</li> <li>・ ファシリテーターの指示により、意見を集約。</li> <li>・ まとまった意見を発表。</li> </ul>

### 準備物

ワークショップを行うための一式。（※兵庫大学で準備）

平成 27 年 10 月 31 日

## 「熟議 2015 in 兵庫大学」事前の学習

日 時：平成 27 年 10 月 31 日 14 時～15 時 30 分  
会 場：兵庫大学エクステンション・カレッジ 104 教室  
講 師：田端和彦（兵庫大学生涯福祉学部教授／エクステンション・カレッジ長）

### 本日の予定

1. 自己認識シートの作成
2. 熟議とは何か
3. ワークショップの役割
4. ワークショップ実践

#### 1. 自己認識シートの作成

自己認識シートは、10 の能力についての自分で評価をする方法です。

それぞれの能力について、自信があるかどうかで判断をします。自己認識シートには「できること」の 3 つ具体例が示されています。3 つは上から順により難しい内容になっています。学校生活、日常生活を振り返り、できることに左の四角欄に✓を入れてみてください。

もし、3 つ全てに✓が入っていれば、それは「かなり自信がある」というのではないのでしょうか。このように、経験から自分の能力を振り返ってください。

#### 2. 熟議とは何か

今日は、熟議型民主主義、という言葉もあわせて覚えてください。18 歳になると選挙権を持つことになります。これは政治への参加を意味します。投票により選ばれた代表者が議論をして国民や住民に影響がある法律や予算を決定します。しかし、これだけでは身近な希望や利害を調整することができない場合も多くあります。そこで、関係者が集まって議論をする場が、議会制民主主義を補完するために必要になってきました。それが熟議型民主主義の考え方です。

兵庫大学の熟議は熟議型民主主義に基づいて実施されます。

#### 3. ワークショップの役割

ワークショップは、働きモノを作る場になります。何を作るのか、といえは議論をまとめて結論を作っていきます。協力をして結論や提言を作成するために議論をしましょう。

議論を進めやすくするために様々な工夫が行われます。その一つが、KJ 法の応用になります。

#### 4.ワークショップの実践

最初に、自己紹介用の三角名札を作成します。  
名前と自分の好きな食べ物を書いてください。

##### ①アイスブレイキング（自己紹介を兼ねて行います）

- (1)名前と自分が好きな食べものを、なぜ自分が好きか理由を述べて紹介しましょう。
- (2)時間は1分間です。
- (3)自己紹介をしているときはしっかりと聞いてください。
- (4)最後に質問をします。

##### ②概要説明

議論をする課題を説明します。課題は、「自分の身の回りで感じる危険」です。

身の回りで感じる危険はどのようなものか、それを出します。整理をして課題と思う危険性を一つ選び、少しでも減らすためにどうすればよいか、を話し合います。

まず、目の前の模造紙を半分に折ってください。

##### ③表明

今回はポストイットを使ってKJ法を応用した方法で行います。最初に、自分が感じたことがある危険を1項目、1枚のポストイットにマジックペンを使い書いてください。今回は、一人5枚以上書きましょう。書いた後、それを表明しながら、テーブルの上の模造紙の半分側に貼り付けていきます。

##### ④意見交換

ポストイットの利点は、はがせることです。表明されたポストイットを眺めながら、これはどの意見に近いかなど意見交換をしながら、ポストイットの集団を作っていきます。

ポストイットの集団ができれば、マジックペンで囲み、その上にタイトルをつけましょう。

そして、課題となる「自分の身の回りで感じる危険」をまとめましょう。

少しでも危険を減らすためにはどうすればその解決の方法を考えていきます。

##### ⑤表明（Part.2）

今度は、危険を減らすためにどうすればよいか、自分で考えた方法を1項目、1枚のポストイットにマジックペンを使い書いてください。書いた後、それを表明しながら、テーブルの上の模造紙の残り半分側に貼り付けていきます。

##### ⑥意見交換（Part.2）

表明されたポストイットを眺めながら、これはどの意見に近いかなど意見交換をしながら、ポストイットの集団を作っていきます。

ポストイットの集団ができれば、マジックペンで囲み、その上にタイトルをつけましょう。そしてその集団同士を結びつけていくと、解決策が見えてきませんか？

## 「熟議 2015 in 兵庫大学」参加者・アンケート

長時間の熟議での議論、お疲れ様でした。

この調査は記名式のアンケート調査です。閉会後にご記入頂き、会場の出口に用意しております回収箱にお入れください。

アンケートは「熟議 2015 in 兵庫大学」の後、テーマである安全・安心に対する考え方や熟議に対する印象がどのように変化をしたのかを確認し、今後の本学での事業に活用するとともに、地域に関する政府、自治体への提言等に活用することをめざしております。ご回答は選択肢の番号を右欄に記入するか、欄に記述をしてください。

なお、当該調査票は兵庫大学・兵庫大学短期大学部にて厳重に保管し、統計的に処理をした結果のみを公表する予定です。調査票にご記入を頂くお名前等は事前に行いましたアンケートとの結合を図るためであり、お名前を他の用途に用いることはございません。ご理解の上、ご回答についてお願いいたします。

1. お名前を下記にご記入ください。

お名前	
-----	--

ここからは「熟議 2015 in 兵庫大学」に対しての皆様のご意見等について伺います。

2. 参加されて満足でしたか。1つ選び、右欄に番号を記入してください。

- ① とても満足
- ② まあ満足
- ③ どちらともいえない
- ④ やや不満足
- ⑤ とても不満足

3. 「熟議 2015 in 兵庫大学」の経験を、今後の活動で活かしたいと思われませんか。1つ選び右欄に番号を記入してください。

- ① 積極的に活かしたい
- ② 機会があれば是非活かしたい
- ③ どちらともいえない
- ④ あまり活かしたいとは思わない
- ⑤ どう活かせばよいのかわからない



4. 「熟議 2015 in 兵庫大学」は、これまでご経験のあった話し合いやワークショップなどと比べどのように思われましたか。それぞれの設問について、1つに○を付けてください。

		非常に思う	思う	どちらともいえない	あまり思わない	全く思わない
1	熟慮の段階があるため、自分の意見を整理することができ発言をし易かった	5	4	3	2	1
2	熟慮の段階があるため、他の人の意見も理解しやすく議論がスムーズだった	5	4	3	2	1
3	これまで経験してきた話し合いなどよりも、共通の基盤に立っての議論ができた	5	4	3	2	1
4	熟議を通して、テーマ（加古川地域のちから）について、興味や関心がより高まった	5	4	3	2	1
5	議論の内容が充実しテーマに関する自分自身の知識などを深める機会になった	5	4	3	2	1
6	課題の解決に向けて、自ら実行することがより重要であるとの考えを持った	5	4	3	2	1
7	最初に自分が持っていた意見について変化をもたらすことになった	5	4	3	2	1

5. 「熟議 2015 in 兵庫大学」のように市民の行う熟議は、現在の行政でどのように役立つとお考えになりますか。それぞれの設問について、1つに○を付けてください。

		非常に思う	思う	どちらともいえない	あまり思わない	全く思わない
1	市民による熟議は、行政のさまざまな政策にも取り入れるべきである	5	4	3	2	1
2	熟議は、国が行うような大きな政策についてよりも、身近な課題について行う方が効果は大きい	5	4	3	2	1
3	熟議の後に調査を行うことで、政策について人々の意向（民意）を知ることができる	5	4	3	2	1
4	互いの利益がぶつかるような場面でも、熟議によって対立を避けることができる	5	4	3	2	1
5	熟議は少数派の意見が多数派にも影響を与え、多数決でものごとを決めるよりも民主的である	5	4	3	2	1

6. 「熟議 2015 in 兵庫大学」の議論の段階で、あなたにとってはどのような成果がありましたか。最も近いものを下記から1つ選び右欄に番号を記入してください。

- ① 自分の意見を述べる事ができた
- ② 他の人の意見を聞く事ができた
- ③ どのように議論を進めるのか、理解する事ができた
- ④ 結論や提案を知ることができた
- ⑤ 多くの人と交流することや話をする事ができた
- ⑥ その他 ( )

7. この設問は社会人の方のみご回答ください。学生、高校生は、次のページにある設問8にお進みください。 熟議での議論を踏まえ、議論を円滑に進めたり、結論を導いたりするために必要と思われる下記の資質それぞれの重要度について、5段階で評価をしてください。

	非常に重要 5	4	3	2	1 全く重要ではない
【例】	5	4	3	2	1
①物事に進んで取り組む自主性	5	4	3	2	1
②要点を把握し論理的に考える思考力	5	4	3	2	1
③目標に向かって行動する実行力	5	4	3	2	1
④状況に合わせて適切に対応する能力	5	4	3	2	1
⑤人に働きかけ行動を促す交渉能力	5	4	3	2	1
⑥相互理解のためのコミュニケーション力	5	4	3	2	1
⑦課題解決をはかるための計画性	5	4	3	2	1
⑧規律を守ること	5	4	3	2	1
⑨チームをまとめ適切に運営する能力	5	4	3	2	1
⑩チームに参画する貢献性	5	4	3	2	1

8. テーマである地域の安心・安全についての、下記のような考え方についてあなたは、賛成ですか、それとも反対ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

		大いに賛成	やや賛成	普通	やや反対	大いに反対
1	人と人との繋がりや信頼が強いほど、安心・安全を創ることに役立つ。	5	4	3	2	1
2	安心・安全を創るためには、住民同士での熟議が必要である。	5	4	3	2	1
3	安心・安全を創ることは、主に自治体や政府の仕事であり、住民の役割は限定されている。	5	4	3	2	1
4	他者との間で信頼関係を築き、ネットワークを形成するには、一人ひとりの能力の向上が必要である。	5	4	3	2	1
5	安心・安全を創るには、堤防や防犯カメラなど、目に見える施設や設備に頼る方がよい。	5	4	3	2	1
6	コミュニティでの日常的な活動が安心・安全を創ることに役立っている。	5	4	3	2	1
7	行政や制度で支援や対応できない場合、住民が互いに助け合うことが必要となる。	5	4	3	2	1
8	安心・安全のためであれば、住民にとって不便になることがあっても仕方がない。	5	4	3	2	1
9	安心・安全を創るのは、地の人 <sup>※</sup> の役割であり、風の人 <sup>※</sup> は関わらないものである。	5	4	3	2	1
10	大学は安心・安全を創るため果たすべき役割がある。	5	4	3	2	1

※「地の人」とは地域活動を支える基礎になる人々で、長く住み、地域にネットワークを持って活動し、地域の変化にも敏感である。地の人には、長い歴史と伝統が蓄積されており、それらを熟知している強みを持つ。また「風の人」とは外から地域に文化をもたらし、考え方をもち活動をする人々で、外から地域に訪れ、その地に魅かれている。外にある変化を捉え、その地域にある頑なな考え方や心情をときほぐす役割を果たす。

ネット学習による「熟慮」について、今後の改善のため「使いやすさ」「理解しやすさ」などのご感想をお書きください。

今回の熟議についてお気づきの点、ご意見等ご自由にお書きください。

自己認識シート(事後評価)

学校名		
科・コース	学年	年
氏名		

※下記に示された各能力に対し、今のあなたに当てはまると思われる「④レベルの欄」の1～5を○で囲んでください。

①能力	②能力の説明	③「できること」の具体例	④レベル				
			かなり自信がある	自信がある	ふつう	あまり自信がない	まったく自信がない
自主性	物事に進んで取り組む力	<input type="checkbox"/> 自分の目標や課題を定め、進んで取り組むことができる <input type="checkbox"/> 物事に対して、興味や関心をもって意欲的に取り組むことができる <input type="checkbox"/> 困難なことでも前向きに取り組むことができる	5	4	3	2	1
思考力	問題の要点を把握して、根拠をもとに論理的に考える力	<input type="checkbox"/> 現状を正しく理解するための情報収集や分析ができる <input type="checkbox"/> 物事の原因と結果を区分したり、問題の背景を考慮することができる <input type="checkbox"/> 問題を解決するために見通しをもって、順序立てて考えることができる	5	4	3	2	1
実行力	目標に向かって行動する力	<input type="checkbox"/> 自分の考えをもち、それらを確実に実行することができる <input type="checkbox"/> 設定した目標達成に向けて粘り強く取り組むことができる <input type="checkbox"/> 困難な状況から逃げずに取り組み続けることができる	5	4	3	2	1
対応力	状況を判断して関係や流れがうまくいくように行動する力	<input type="checkbox"/> 相手やその場の状況を配慮しながら、柔軟に対応することができる <input type="checkbox"/> 自分の役割と他者の役割を的確に判断し、取り組むことができる <input type="checkbox"/> 物事が良い方向に流れるよう、まわりに働きかけることができる	5	4	3	2	1
交渉力	人との間わりを踏まえ、働きかけて相互理解へ導く力	<input type="checkbox"/> 取り決めのための話し合いの場を持ち、合意をめざすことができる <input type="checkbox"/> 協力することの意義や理由を、相手に対して明確に伝えることができる <input type="checkbox"/> 周囲の人に対して効果的に働きかける手段を活用できる	5	4	3	2	1
会話力	相手と意思疎通(そつう)を図る力	<input type="checkbox"/> 自分の意見を具体的にわかりやすく伝えることができる <input type="checkbox"/> 相手の意見を丁寧に聞き、素直に受け止めることができる <input type="checkbox"/> 相づちや共感により、相手に話しやすい状況を作ることができる	5	4	3	2	1
計画力	現状を把握し、解決に向けて筋道を立てる力	<input type="checkbox"/> 実現のために段階ごとにすべきことを把握することができる <input type="checkbox"/> 作業の過程を明らかにし、優先順位をつけて計画を立てることができる <input type="checkbox"/> 必要に応じて他者の意見も積極的に計画に取り入れることができる	5	4	3	2	1
規律性	社会のルールや人との約束を守る力	<input type="checkbox"/> 社会のルールやマナーの必要性を理解し、それらを守ることができる <input type="checkbox"/> 他者に社会のルールやマナー、また約束を守るように促すことができる <input type="checkbox"/> 異なる立場を理解しながら社会のためのルールや約束を結ぶことができる	5	4	3	2	1
運営力	違う立場の人々の集まるチームを適切に運営する力	<input type="checkbox"/> 自分の意見をもちつつも、他者の意見や立場も理解することができる <input type="checkbox"/> チームの目的を明確にして、メンバーに働きかけることができる <input type="checkbox"/> 異なる立場の人々とも力を合わせて物事を達成することができる	5	4	3	2	1
貢献性	社会の担い手として役割を自覚して、参画する力	<input type="checkbox"/> 地域や社会に参画することの意義や役割について理解している <input type="checkbox"/> 地域や社会に参画して、自分の役割を果たそうとする意志がある <input type="checkbox"/> 地域や社会の担い手として、使命感をもった取り組みができる	5	4	3	2	1

## 学生事後研修資料

### 熟議終了後の学生同士のグループワーク

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

熟議への参加、ご苦勞様でした。これから振り返りのためのグループワークを行います。ワークショップ方式で話し合いをしましょう。

#### 話し合う内容

①グループでは意見を大いに出し合い話したいことを全て話すことができましたか

②参加したメリットはどこにありましたか

グループワークとその発表の終了後、裏面のアンケート調査にお答えください。

